

令和5年

# 館林地区消防組合



# 消防年報



## はじめに

当消防組合は、昭和44年国の重点施策に基づく広域市町村整備計画に沿い施設の整備強化を図り、火災及び地震等の災害から地域住民を保護し、社会公共の福祉の向上を積極的に推進しようという機運が高まり、館林市、板倉町、明和村（現明和町）、千代田村（現千代田町）、邑楽町の1市2町2村での消防業務を処理するための組合を、既設の館林市消防本部・消防署を中核として昭和45年4月1日に発足しました。

この消防年報は、令和4年中の消防業務について収録編さんし、今後の消防行政の参考にするとともに、館林地区消防組合の消防現況を広くご理解いただくために作成しました。

令和5年9月

館林地区消防組合消防本部

# 目 次

## 一 般 概 要

・ 消防の沿革	1	・ 消防庁舎の概要	7
・ 位置と地勢・構成市町の状況	5	・ 消防勢力	8
・ 管内図・消防庁舎所在地	6		

## 総 務 課

・ 消防組合組織図	9	・ 消防職員の現況	18
・ 消防本部事務分掌	10	・ 消防吏員等現員調	18
・ 消防本部の機構	13	・ 消防吏員勤続年数調	19
・ 消防署及び分署事務分掌	14	・ 消防吏員年齢調	20
・ 消防組合予算及び決算	15	・ 消防職員の研修状況	21
・ 組合予算歳入事項別明細	15	・ 消防相互応援協定の状況	22
・ 組合予算歳出事項別明細	15		
・ 構成市町別消防費内訳	16		
・ 年度別歳入歳出決算額	17		

## 予 防 課

・ 令和4年中の火災発生状況	23	・ 月別建築同意件数	35
・ 市町・原因別火災発生状況	24	・ 用途別5階以上建物一覧	36
・ 市町別火災種別及び損害額	25	・ 月別各種届出受理件数	37
・ 月別火災発生状況	26	・ 署別・月別立入検査実施状況	37
・ 曜日別火災発生状況	26	・ 防火管理者講習会受講者数	38
・ 気象別火災件数	27	・ 防災講習会受講者数	38
・ 危険物製造所等の管内設置状況	28	・ 各種団体	38
・ 危険物製造所等の事務処理状況	28		
・ 危険物製造所等の数量別調査表	29		
・ 危険物製造所等の類別調査表	29		
・ 数量別タンク検査状況	30		
・ 消防用設備等の点検報告等実施状況	31		
・ 消防用設備等設置状況	32		
・ 防火管理者選任状況等調	34		

## 警防課

・消防車両配置一覧表	39	・救助	45
・救急	41	・救助隊	45
・救急救命士	41	・特別救助隊	45
・普通救命講習等指導結果集計表	41	・救助隊資機材一覧	46
・令和4年中の救急出場状況	42	・令和4年中の救助出場状況	47
・事故種別・年齢区分別・傷病程度別搬送人員	43	(事故種別統計・管内別統計)	
・救急出場(搬送人員)推移	44		

## 通信指令課

・高機能消防指令システム	48	・館林地区消防組合デジタル無線局一覧	51
・指令装置	48	・気象関係	56
・高機能消防指令システムの主な機能	49	・月別天候状況調	56
・自動出動指定装置	49	・風速・温度・湿度・降水量月別平均調	56
・地図等検索装置	49	・気象情報受理件数	56
・無線統制台	49		
・車両動態表示装置	49		
・順次指令装置	49		
・災害状況自動案内装置	49		
・NET119	49		
・多言語通話機能	49		
・119番受付状況	50		
・緊急通報システム月別受信状況	50		
・緊急通報システム概要	50		

## 消防音楽隊

・音楽隊編成表	57
---------	----

## 消防団

・消防団組織図	58	・消防団消防車両配置一覧表	63
・本部の名称及び位置	58	・消防団の勢力	65
・団員報酬等	58	・消防団員の出場状況	65
・消防団分団区域一覧	59		
・消防団員の現況	61		
・消防団員配置状況	61		
・消防団員階級別年齢調	62		





# 一般概要





# 消防の沿革

- 昭和25年12月 ・館林町常備消防部発足 部員12名。
- 昭和29年 4月 ・1町7ヵ村合併により館林市発足。
- 昭和30年 8月 ・館林市大字館林818番地の4に庁舎落成、移転。(449.6㎡)
- 昭和32年 7月 ・中短波無線局設置。
- 昭和33年 6月 ・救急業務開始。
- 昭和35年 4月 ・消防本部及び消防署設置 職員30名。
- 昭和37年12月 ・千代田村機関常備発足 部員4名。
- 昭和38年 7月 ・板倉町常備消防部発足 部員12名。
- 昭和41年 9月 ・超短波無線局設置。
- 昭和43年 7月 ・館林市隣接町村からの消防事務を委託。
- 昭和45年 4月 ・1市2町2ヵ村による広域消防組合発足。(館林市、板倉町、明和村、千代田村 邑楽町)(消防組合発足昭和45年4月1日群馬県指令地第122号)
- 昭和45年 5月 ・消防音楽隊発足。
- 昭和45年12月 ・組合消防初代消防長に吉田健一郎が就任。
- 昭和46年 3月 ・板倉分署新庁舎完成、移転。
- 昭和46年 4月 ・邑楽水害予防組合が発展的に解消し邑楽館林水防事務組合が設立され、その事務を消防本部で執行。
- 昭和47年 4月 ・明和、千代田、邑楽分署庁舎完成、3分署発足。
- 昭和47年 4月 ・職員17名採用、実員97名となる。
- 昭和47年 4月 ・邑楽館林水防事務組合を解散し消防組合に包含。
- 昭和47年 4月 ・水防管理団体指定(昭和47年4月1日群馬県指令河第108号)
- 昭和47年 11月 ・消防団を消防組合消防団に一本化し支団制を執行。
- 昭和48年 4月 ・職員11名採用、実員108名となる。
- 昭和48年 4月 ・東北道縦貫自動車道開通に伴い火災、救急業務開始。
- 昭和49年 3月 ・職員6名採用、実員114名となる。
- 昭和49年 4月 ・館林市美園町7番3号に消防本部及び消防署新庁舎完成、同年5月移転。
- 昭和49年 4月 ・条例定数を減少し定員139名、その他職員2名となる。職員14名採用、実員128名となる。
- 昭和49年11月 ・館林市大街道出張所完成。
- 昭和49年12月 ・特別操法隊、レンジャー隊発足。
- 昭和50年 4月 ・職員4名採用、実員132名となる。
- 昭和51年 6月 ・救助艇隊発足、本署に救助艇を配備。
- 昭和53年 4月 ・職員8名採用、実員137名となる。(内1名はその他の職員)
- 昭和54年 4月 ・職員6名採用、実員140名となる。(内2名はその他の職員)
- 昭和54年 8月 ・消防本部機構改革、警防課が新設され、3課1室8係となる。
- 昭和55年 4月 ・職員2名採用、実員141名となる。
- 昭和55年 7月 ・救助艇隊を発展的に解消し、レンジャー隊が救急を除く、水陸両事故に対処するものとなる。
- 昭和56年 4月 ・第2代消防長に金子喜久男が就任。
- 昭和57年 4月 ・千代田村が町制を施行、千代田町となる。
- 昭和57年 7月 ・通信指令室に2係を新設、3課1室9係となる。
- 昭和58年 4月 ・消防本部及び消防機構改革、本部に本部次長・参事・課長・主幹・係長・主査主任、署に司令以下(本部の主幹以下)の職制を採用、消防署の中隊を消防第一係・第二係と改称、庶務係・予防係を新設、消防団事務を消防署で執行。
- 昭和58年10月 ・3.5m級梯子付消防自動車を導入。
- 昭和59年 4月 ・消防組合消防団の支団制を廃止し、消防団制を執行。
- 昭和61年 4月 ・条例定数改正により消防吏員162名、その他職員2名となる。
- 昭和62年 4月 ・職員6名採用、実員146名となる。
- 昭和63年 3月 ・組合議会議員定数改正、各市町村の議員の任期満了によりそれぞれ1名減員し将来11名構成になる。
- 昭和63年 4月 ・職員6名採用、実員151名となる。
- 平成 元年 4月 ・職員4名採用、実員156名となる。
- 平成 元年 5月 ・北出張所庁舎完成(開所)。
- 平成 2年 3月 ・化学消防自動車を導入。
- 平成 2年 4月 ・職員5名採用、実員160名となる。
- 平成 3年 4月 ・職員5名採用、実員162名となる。

- 平成 3年 1 1月 ・整備工場を細内町（北出張所隣接）に移設。
- 平成 4年 4月 ・条例改正により定数176名、職員4名採用、実員161名となる。
- 平成 4年 1 2月 ・救助工作車を導入。
- 平成 5年 1月 ・救助工作車（Ⅱ型）を本署に配備する。
- 平成 5年 3月 ・板倉分署2号車（水槽付700ℓ）、明和分署1号車（水-Ⅱ型）、救急車を更新。
- 平成 5年 4月 ・消防署に係制を敷き、庶務係・予防係・警防係・消防団係・救急係・救助係を設置する。  
・職員8名採用、実員170名となる。
- 平成 5年 8月 ・群馬県総合防災訓練を館林市大島地先で実施。
- 平成 6年 4月 ・職員7名採用、実員175名となる。
- 平成 6年 5月 ・組合初の救急救命士誕生。
- 平成 6年 7月 ・マイクロバスを更新。
- 平成 6年 9月 ・邑楽消防団第1分団第2班詰所新築。  
・千代田消防団第1分団第1班、第2分団第3班車両を更新（CD-I）。  
・館林消防団第5分団第2班車両を更新（CD-I）。
- 平成 6年 1 1月 ・救急車（予備車）を更新（本署）、救助艇牽引車を更新（本署）。
- 平成 7年 3月 ・指揮広報車を更新（本部）、北出張所1号車を更新（水-Ⅱ型）。
- 平成 7年 4月 ・出張所長（日勤）、係長を常勤として配置。
- 平成 7年 4月 ・職員2名採用、実員175名となる。
- 平成 7年 6月 ・整備工場連絡車を更新。
- 平成 7年 1 1月 ・千代田消防団第1分団第2班、第1分団第4班、第2分団第2班車両を更新（CD-I）。
- 平成 7年 1 2月 ・館林消防団第10分団第1班、邑楽消防団第1分団第2班、第3分団第4班車両を更新（CD-I）。
- 平成 8年 3月 ・庁舎増築（指令室、作戦指令室、会議室、機械室、救急隊員控室、救急資器材倉庫、救急用消毒室、車庫）。  
・高規格救急自動車を導入、本署に配備。  
・庁舎増築に伴い高圧ガス製造所を移設。
- 平成 8年 4月 ・高規格救急自動車の運用開始。  
・出張所に所長以下20名の職員を配置、救急車を配備し運用開始。
- 平成 8年 1 0月 ・明和消防団第1分団第1班車両を更新（CD-I）。
- 平成 8年 1 1月 ・邑楽消防団第2分団第3班車両を更新（CD-I）。
- 平成 8年 1 2月 ・館林消防団第9分団第2班車両を更新（CD-I）。  
・館林消防団第6分団第1班詰所新築。
- 平成 9年 2月 ・館林消防団専用消防無線機（携帯型1W）18基配備。
- 平成 9年 3月 ・消防緊急指令施設（Ⅱ型）更新、OA化に伴い各課、各署にOA端末機を導入。  
・ポートトレーラー（本署配備）、千代田分署配備の救助艇（8人乗り）を更新。  
・北出張所車庫（40.5㎡）の増築、明和消防団第2分団第2班、邑楽消防団第2分団第2班詰所新築。
- 平成 9年 4月 ・第3代消防長に金子政雄が就任。  
・消防緊急指令施設（Ⅱ型）運用を開始。  
・消防長車を更新。  
・本部・署の車両にAVM装置（車両動態表示装置）を搭載。
- 平成 9年 1 1月 ・明和消防団第3分団第1班車両を更新（CD-I）。  
・明和消防団第1分団第2班詰所新築。  
・邑楽消防団第2分団第2班、第3分団第2班車両を更新（CD-I）。
- 平成 9年 1 2月 ・館林消防団第2分団、第4分団第2班車両を更新（CD-I）。  
・館林消防団第4分団第1班詰所新築。
- 平成 10年 3月 ・館林消防署電源照明車を更新。
- 平成 10年 8月 ・明和消防団第1分団第2班、第2分団第2班、第3分団第2班車両（700ℓの水槽付）  
邑楽消防団第1分団第3班車両を更新（CD-I）。  
・館林2号車（水-Ⅱ型）、板倉1号車（水-Ⅱ型）、邑楽2号車（水-I型）  
を更新、邑楽2号車（中継用）には、水槽付（1500ℓ）、ホース10本  
積載できる電動ホースカー（動力昇降装置）を新たに導入。
- 平成 10年 1 0月 ・明和村が町制を施行、明和町となる。
- 平成 11年 2月 ・館林消防団第2分団詰所新築。
- 平成 11年 3月 ・邑楽分署に高規格救急自動車を配備。
- 平成 11年 1 0月 ・館林消防団第6分団第1班、第8分団第2班車両を更新（CD-I）。  
・板倉消防団第5分団車両を更新（CD-I）。

- 平成12年 3月 ・板倉分署、千代田分署に高規格救急自動車を配備。
- 平成12年10月 ・明和消防団第1分団第1班詰所新築。
- 平成12年12月 ・本部警防1号車を更新。
- 平成13年 1月 ・条例定数の消防吏員181名、その他職員2名となる。
- 平成13年 2月 ・館林消防署救助艇及びボートトレーラーを更新。
- 平成13年 3月 ・館林3号車を更新(CD-I)。
- 平成13年 4月 ・板倉分署水防車(軽)を更新。
- 平成13年 10月 ・邑楽1号車を更新(水-II)。
- 平成14年 4月 ・館林消防団第8分団第1班詰所新築。
- 平成14年 5月 ・常備消防費負担割合 基準財政需要額60%及び人口割とする。
- 平成14年 9月 ・明和分署に高規格救急自動車を配備。
- 平成14年 10月 ・西分署新庁舎完成。(大街道出張所の廃止)
- 平成14年 12月 ・北出張所を改め、北分署となる。
- 平成15年 2月 ・職員6名採用、実員183名となる。
- 平成15年 3月 ・西分署に高規格救急自動車を配備。
- 平成15年 5月 ・西分署に3号車(連絡車)を配備。
- 平成15年 11月 ・北分署3号車(連絡車)を配備。
- 平成16年 3月 ・邑楽消防団第3分団第5班車両を更新(CD-1)。
- 平成16年 4月 ・館林消防団第4分団第1班車両を更新(CD-1)。
- 平成16年 8月 ・北分署に水防車(軽)を配備、千代田分署水防車(軽)を更新。
- 平成17年 3月 ・北分署に高規格救急自動車を配備。
- 平成17年 12月 ・救急救命士1名誕生15名となる。
- 平成18年 3月 ・救急救命士1名誕生16名となる。
- 平成18年 4月 ・西分署に大型水槽車(10,000ℓ)を配備。
- 平成19年 3月 ・館林消防署の救急館林3号車を高規格救急自動車に更新。
- 平成19年 4月 ・第4代消防長に荒井栄一が就任。
- 平成20年 4月 ・群馬県防災訓練を館林市大島町地内青少年広場にて実施。
- 平成20年 5月 ・館林消防署の梯子車(35m級)を更新(30m級)。
- 平成20年 11月 ・館林消防署の救急館林1号車(高規格)を更新。
- 平成20年 12月 ・救急館林1号車(高規格)を本部指揮統制車に改造。
- 平成21年 3月 ・明和町南大島265番地1に明和分署新庁舎完成、移転。
- 平成21年 4月 ・条例定数の消防吏員189名、その他職員2名となる。
- 平成21年 5月 ・職員8名採用、実員185名となる。
- 平成21年 11月 ・職員10名採用、実員188名となる。
- 平成21年 12月 ・第5代消防長に田中栄が就任。
- 平成22年 3月 ・邑楽町大字中野2647番地1に邑楽分署新庁舎完成、移転。
- 平成22年 4月 ・館林消防団第9分団第1班詰所新築。
- 平成22年 5月 ・館林1号車を更新。
- 平成22年 7月 ・邑楽分署高規格救急自動車、館林消防団第1分団車を更新。
- 平成22年 11月 ・板倉町大字板倉3427番地の5に板倉分署新庁舎完成、移転。
- 平成23年 1月 ・職員9名採用、実員191となる。
- 平成23年 2月 ・救急救命士1名誕生、27名となる。
- 平成23年 3月 ・館林消防団第8分団第2班に救助資機材搭載型消防車両が貸与される。
- 平成23年 4月 ・館林消防団第4分団第2班詰所新築。
- 平成23年 5月 ・災害用フォークリフトを購入。
- 平成23年 7月 ・千代田町大字菅野1218番地の1に千代田分署新庁舎完成、移転。
- 平成23年 8月 ・救急板倉1号車及び救急千代田1号車を更新。
- 平成23年 9月 ・板倉分署、明和分署、千代田分署、邑楽分署を消防署に組織改編。
- 平成23年 10月 ・第59回利根川水系連合水防演習を板倉町大高嶋地先で実施。
- 平成23年 11月 ・館林梯子2号車(15m級)を北分署から板倉消防署に配置換え。
- 平成23年 12月 ・千代田1号車を更新。
- 平成24年 1月 ・救急明和1号車を更新。
- 平成24年 2月 ・館林救助2号車を更新。
- 平成24年 3月 ・館林地区消防組合消防団に司令車が寄贈される。
- 平成24年 4月 ・水防1号車を更新。
- 平成24年 5月 ・第6代消防長に小林博が就任。
- 平成24年 6月 ・邑楽消防署に館林救助3号車(救助工作車II型)を配備。
- 平成24年 7月 ・救急救命士1名誕生、33名となる。
- 平成24年 8月 ・救急館林西1号車を更新。

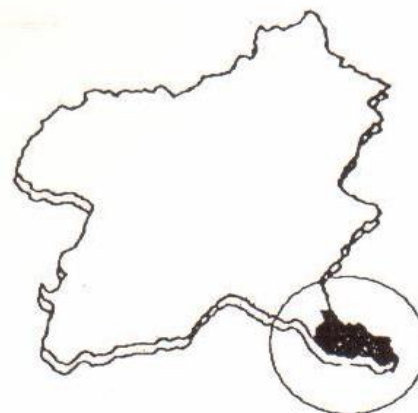
- 平成24年 3月
  - ・明和1号車を更新。
  - ・板倉2号車を更新。
- 平成25年 1月
  - ・館林北1号車を更新。
- 平成25年 3月
  - ・重機（3t級）、重機搬送車が総務省消防庁より貸与される。
- 平成25年 4月
  - ・消防救急デジタル無線を導入。
- 平成25年 6月
  - ・救急救命士1名誕生、38名となる。
- 平成25年 7月
  - ・特別救助隊、指揮隊を発足。
- 平成26年 1月
  - ・救急館林北1号車を更新。
- 平成26年 4月
  - ・第7代消防長に小山雅則が就任。
  - ・条例定数改正により、消防吏員191名となる。
- 平成26年12月
  - ・火災原因調査車を更新。
- 平成27年 1月
  - ・救急館林2号車を更新。
- 平成27年 2月
  - ・館林水防車（軽）を更新。
  - ・館林署指揮隊車を購入。
- 平成27年 3月
  - ・邑楽2号車を更新。
  - ・通信指令装置（指令系）を更新。
- 平成27年11月
  - ・救急館林1号車を更新。
- 平成28年 2月
  - ・警防車（本部2）を購入。
  - ・明和消防団第3分団第2班詰所新築。
  - ・館林化学1号車を更新。
- 平成28年 3月
  - ・館林消防団第10分団第1班詰所新築。
  - ・デジタル無線出動車両運用管理システム地図検索装置用ベクトル更新地図使用。
  - ・救急救命士、43名となる。
- 平成28年 4月
  - ・第8代消防長に峰岸一弘が就任。
- 平成28年 9月
  - ・群馬県総合防災訓練を館林市大島町地内青少年広場にて実施。
- 平成29年 3月
  - ・板倉1号車を更新。
  - ・救急救命士、47名となる。
- 平成29年 4月
  - ・危険物安全協会と防火対象物連絡協議会が合併し、館林地区防火安全協会となる。
- 平成29年 6月
  - ・館林地区消防組合消防本部 館林消防署 新庁舎 設計業務委託。
- 平成29年10月
  - ・救急邑楽1号車を更新。
- 平成30年 4月
  - ・第9代消防長に福地保幸が就任。
  - ・救急救命士、49名となる。
- 平成30年 8月
  - ・館林地区消防組合消防本部 館林消防署 新庁舎 設計業務完成。
- 平成30年10月
  - ・館林地区消防組合消防本部 館林消防署 新庁舎 建設工事着工。
- 平成31年 3月
  - ・邑楽1号車を更新。
- 平成31年 4月
  - ・救急救命士、52名となる。
- 令和 2年 1月
  - ・救急板倉1号車を更新。
- 令和 2年 3月
  - ・館林地区消防組合消防本部 館林消防署 新庁舎完成。
- 令和 2年 4月
  - ・館林地区消防組合発足50周年を迎える。
  - ・館林地区消防組合消防本部 館林消防署 新庁舎開署。
  - ・高機能消防指令センター 整備導入。
  - ・救急救命士、56名となる。
- 令和 2年 6月
  - ・高機能消防指令センターにNET119機能を整備導入。
- 令和 2年10月
  - ・千代田消防署救助艇更新、船舶積載用トレーラー配備。
- 令和 2年12月
  - ・救急千代田1号車を更新。
- 令和 3年 3月
  - ・館林西1号車を更新。
- 令和 3年 4月
  - ・救急救命士、58名となる。
- 令和 3年12月
  - ・救急明和1号車を更新。
- 令和 4年 3月
  - ・北分署改修工事。
  - ・条例定数改正により、定数200名となる。
- 令和 4年 4月
  - ・救急救命士、59名となる。
- 令和 4年12月
  - ・救急西1号車を更新。
- 令和 5年 3月
  - ・資材搬送車を購入。
- 令和 5年 3月
  - ・邑楽消防署庁舎女子エリア改修工事。
- 令和 5年 4月
  - ・第10代消防長に小貫裕康が就任。
  - ・救急救命士、61名となる。

## 位置と地勢

当館林地区消防組合のある館林・邑楽地区は、「鶴舞う形の群馬県」のちょうど頭とクチバシのあたりで、関東平野のほぼ真ん中に位置し、北に栃木県佐野市・足利市・栃木市、東に茨城県古河市、南に埼玉県羽生市・行田市・加須市と3県に接し、西は太田市・大泉町に接しています。

地形は、すべて平地で利根川、渡良瀬川の大河をはじめ中小河川に渡良瀬遊水地、多々良沼、城沼、近藤沼などの池沼が点在し、水と緑が豊かな地域であります。

交通アクセスも、東北自動車により首都圏や東北方面等も非常に近く、東武鉄道伊勢崎線、日光線により浅草まで、1時間弱という近さで通勤通学にも非常に便利な地域で、近年、流通・製造などの企業や大規模商業施設が進出しています。



## 構成市町の状況

(1) 令和5年4月1日現在の面積・人口・世帯数（外国人含む）

市町村名	区分	面積 (km <sup>2</sup> )	人口	男女別		世帯数
				男	女	
館 林 市		60.97	74,234	37,236	36,998	34,204
			(74,652)	(37,483)	(37,169)	(33,969)
板 倉 町		41.86	13,808	6,944	6,864	5,875
			(13,999)	(6,997)	(7,002)	(5,794)
明 和 町		19.64	10,823	5,447	5,376	4,308
			(10,918)	(5,508)	(5,410)	(4,293)
千 代 田 町		21.73	10,983	5,604	5,379	4,623
			(11,055)	(5,637)	(5,418)	(4,563)
邑 楽 町		31.11	25,767	13,080	12,687	10,742
			(25,871)	(13,069)	(12,802)	(10,484)
合 計		175.31	135,615	68,311	67,304	59,752
			(136,495)	(68,694)	(67,801)	(59,103)

( )内は令和4年4月1日現在

# 管内図・消防庁舎所在地



名称	区分	所在地	電話番号	
消防本部 館林消防署		館林市上赤生田町4050番地の1	総務課 庶務係/72-7229	予防課 予防係/72-8366
			総務課 企画広報係/72-8360	予防課 設備係/72-8363
			警防課 警防係/72-8361	予防課 保安係/72-8364
			警防課 装備係/72-8362	
			警防課 救急管理係/72-8368	館林消防署/72-8369
			通信指令課/72-3170	館林消防署 救急係/72-8370
西分署		館林市北成島町1647番地の1	0276-75-6656	
北分署		館林市細内町687番地の3	0276-72-6441	
板倉消防署		板倉町大字板倉3427番地の5	0276-82-1138	
明和消防署		明和町南大島265番地1	0276-84-3131	
千代田消防署		千代田町大字萱野1218番地の1	0276-86-3202	
邑楽消防署		邑楽町大字中野2647番地1	0276-88-5551	

# 消防庁舎の概要

名 称	構 造	面 積 (㎡)		敷地面積 (㎡)	建築年月
		建築面積	延面積		
消 防 本 部 館 林 消 防 署	・庁 舎 (RC造3階建 一部鉄骨造)	1,640.77	3,319.74	12,062.35	令2.4 (移転新築)
	・本部車両車庫棟 (鉄骨造平屋建)	302.54	289.09		
	・訓練塔A塔 (RC造5階建)	52.42	220.50		
	・訓練塔B塔 (鉄骨造地下1階地上3階建)	46.16	112.69		
	・訓練塔C塔 (鉄骨造2階建)	32.17	62.98		
	・倉庫棟 (鉄骨造平屋建)	336.00	294.00		
	・自家給油所 (鉄骨造平屋建)	17.50	22.50		
	( 総 計 )	2427.56	4321.50		
西 分 署	・庁 舎 (鉄骨造2階建 洋瓦葺)	527.54	693.40	1,957.69	平14.4
北 分 署	・庁 舎 (鉄骨造2階一部平屋建 (車庫含む) )	347.77	449.88	2,315.0	平 1.5
	・訓練塔A塔 (鉄骨コンクリート造5階建)	29.16	145.80		(増築) 平 9.3
	・訓練塔B塔 及びC塔 (鉄骨造高さ7m)				
	・車庫、外壁補修工事				令4.3
板 倉 消 防 署	・庁 舎 (鉄骨造2階建 素鋼板横段葺)	748.41	965.08	5,526.64	平21.4
	・訓練塔 (RC造高さ7.75m)	30.00	60.00		(増築)
	・水防倉庫 (木造平屋建)	66.24	66.24		平24.3
明和消防署	・庁 舎 (鉄骨造2階建 洋瓦葺)	525.57	726.72	2,375.44	平19.3
千 代 田 消 防 署	・庁 舎 (鉄骨造2階建 洋瓦葺)	688.88	846.75	3,684.97	平22.3
	・水防倉庫 (木造平屋建)	66.24	66.24		
邑 楽 消 防 署	・庁 舎 (鉄筋コンクリート造2階建 及び 鉄骨造平屋建)	635.63	890.69	4,508.00	平20.5
	・訓練塔 (鉄骨造高さ10.2m)	32.72	87.54		
	・水防倉庫 (プレハブ造)	37.21	37.21		

# 消防勢力

区 分	消防吏員	消防吏員一人当たり			消防 ポンプ車数	消防ポンプ車一台当たり		
	総 員	面積 km <sup>2</sup>	人 口	世帯数		面積 km <sup>2</sup>	人 口	世帯数
組 合 総 計	193	0.91	703	310	12	14.61	11,301	4,979
消 防 本 部 通 信 指 令 課	38	/	/	/	/	/	/	/
館 林 消 防 署 北 ・ 西 分 署	67	0.91	1,108	511	6	10.16	12,372	5,701
板 倉 消 防 署	21	1.99	658	280	2	20.93	6,904	2,938
明 和 消 防 署	21	0.94	515	205	1	19.64	10,823	4,308
千 代 田 消 防 署	21	1.03	523	220	1	21.73	10,983	4,623
邑 楽 消 防 署	25	1.24	1,031	430	2	15.56	12,884	5,371



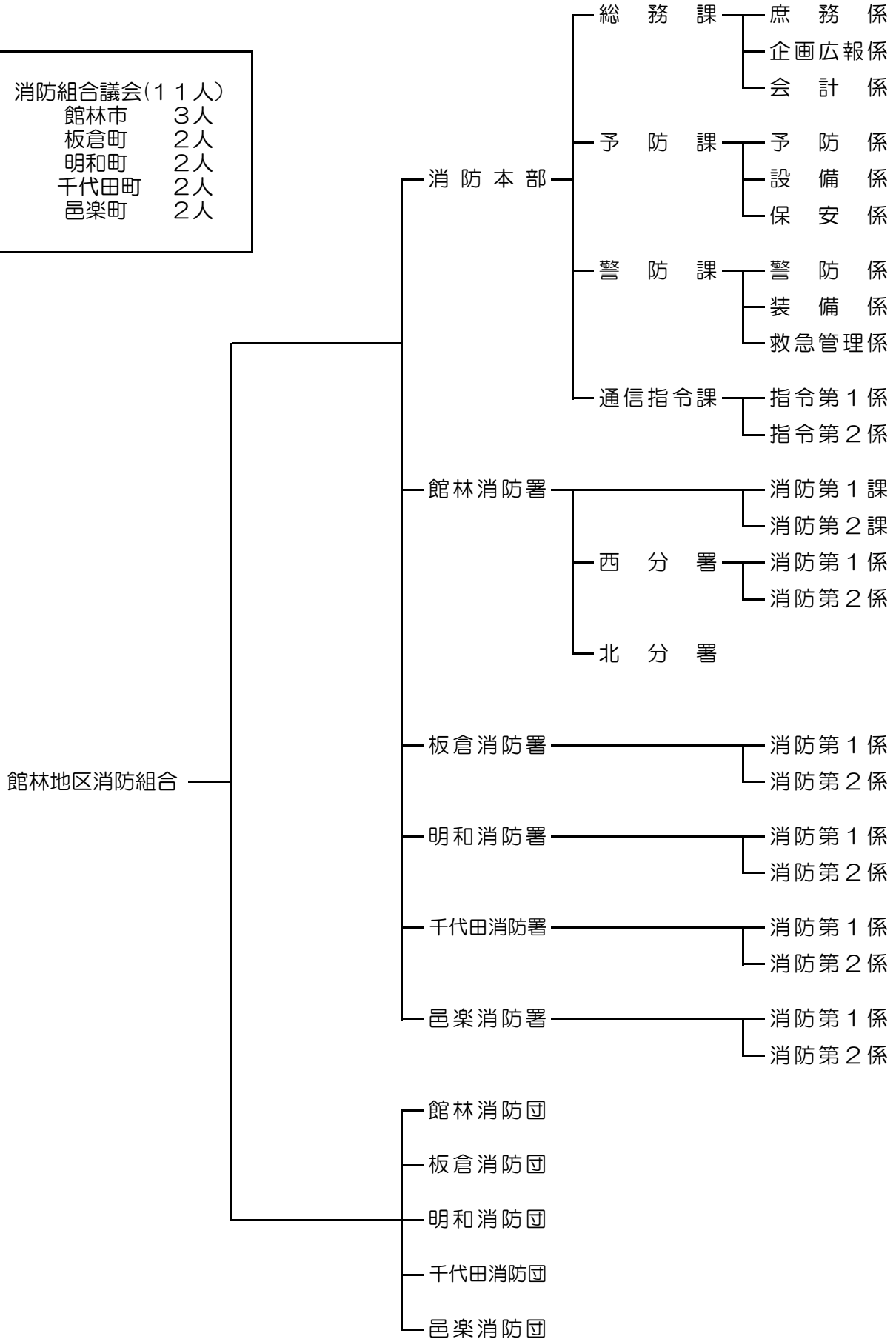


総務



# 消防組合組織図

消防組合議会(11人)	
館林市	3人
板倉町	2人
明和町	2人
千代田町	2人
邑楽町	2人



# 消防本部事務分掌

## 総務課

### 庶務係

- 公印の保管に関する事。
- 職員の任用、分限、懲戒、服務その他身分に関する事。
- 予算の編成及び執行管理に関する事。
- 諸給与に関する事。
- 条例、規則に関する事。
- 文書の収発及び編さん保存に関する事。
- 職員の福利厚生及び共済に関する事。
- 組合議会に関する事。
- 監査に関する事。
- 組合公平委員会に関する事。
- 個人情報の保護に関する事。
- 安全衛生管理に関する事。
- 消防職員委員会に関する事。
- 職員の公務災害に関する事。
- 他の主管に属さない事。

### 企画広報係

- 火災予防の普及宣伝に関する事。
- 儀式・表彰に関する事。
- 消防行政の総合調査、企画及び調整に関する事。
- 広報、公聴及び防火相談に関する事。
- 消防職員の教養に関する事。
- 消防情報に関する事。
- 各種統計に関する事。
- 各種計画に関する事。
- 消防長会等に関する事。
- 消防音楽隊に関する事。

### 会計係

- 会計、経理に関する事。
- 資機材及び物品の購入、修繕、保管、出納管理に関する事。
- 決算の調整に関する事。
- 組合債及び補助金等に関する事。
- 手数料等の徴収に関する事。
- 契約に関する事。
- 基金に関する事。
- 財政状況の作成及び公表に関する事。

## 予防課

### 予防係

- 防火対象物の指導取締りに関すること。
- 査察に関すること。
- 予防要員の指導育成に関すること。
- 火災予防対策と指導に関すること。
- 防火管理者の指導育成に関すること。
- 自衛消防隊の指導育成に関すること。
- 消防協力団体に関すること。
- 法令に基づいて各種届出に関すること。

### 設備係

- 建築物の同意事務に関すること。
- 消防用設備等の指導に関すること。
- 住宅防火対策に関すること。
- 対象物台帳に関すること。
- 表示・公表制度に関すること。
- 消防協力団体に関すること。

### 保安係

- 危険物規制事務に関すること。
- 危険物施設等の指導取締りに関すること。
- 高圧ガス等の火災予防事務に関すること。
- 少量危険物、指定可燃物等の指導取締りに関すること。
- 火災原因、損害の調査に関すること。
- 火災報告、罹災証明等に関すること。
- 火災調査技術の研究に関すること。
- 危険物災害の調査に関すること。
- 消防協力団体に関すること。

## 警防課

### 警防係

- 消防力の配備運用及び消防計画に関すること。
- 火災の警戒防ぎよに関すること。
- 消防訓練に関すること。
- 救助に関すること。
- 車両共済及び建物共済等保険に関すること。
- 消防の応援協定等に関すること。
- 緊急消防援助隊に関すること。
- 災害の情報収集に関すること。
- 消防団に関すること。
- 火災予防条例にもとづく警防関係届出に関すること。
- 消防団員の公務災害に関すること。
- 安全運転管理に関すること。
- 消防協会に関すること。

## 警防課

### 装備係

- 消防用資機材の配備及び運用管理に関する事。
- 消防施設の管理に関する事。
- 消防機器の操作技術の指導に関する事。
- 水防資機材の調達及び水防活動に関する事。
- 水防計画の策定及び水防工法の普及に関する事。
- 地理、水利の調査保全に関する事。
- 開発行為に関する事。
- 火薬類（煙火）消費に関する事。

### 救急管理係

- 救急業務の企画及び運営に関する事。
- 救急技術の研究及び指導に関する事。
- 救急業務の高度化推進に関する事。
- 救急資機材の整備及び保全に関する事。
- 応急手当普及啓発に関する事。
- 患者等搬送事業の指導及び認定に関する事。
- 救急統計及び報告に関する事。
- 救急救命士及び救急隊員の教育、指導及び研修に関する事。
- 救急医療機関及びその他関係機関との連絡調整に関する事。
- メディカルコントロール体制に関する事。
- その他救急事務に関する事。

## 通信指令課

### 通信指令係

- 火災、救急、救助その他災害の出場指令に関する事。
- 災害の情報収集、情報伝達及び即報に関する事。
- 火災の警報及び消防信号に関する事。
- 通信施設の運用管理に関する事。
- 通信技術者の指導、教養に関する事。
- 気象の観測及び気象情報に関する事。
- 防災行政無線の運用管理に関する事。
- 救急医療情報の収集、伝達及び案内に関する事。
- 救急及び通報統計に関する事。
- 緊急通報システムに関する事。
- NET 1 1 9に関する事。
- その他通信業務及び無線業務に関する事。

# 消防本部の機構

令和5年4月1日 現在

消防長	次長
-----	----

<b>館林消防署（51名）</b>		
本部次長兼消防署長（日勤）		
消防第一課 （25名）	庶務係 警防係 救急係	予防係 消防団係 救助係
消防第二課 （26名）		

<b>北分署</b> (館林消防署より派遣3名：隔日勤務)
----------------------------------

<b>西分署（16名）</b>		
消防第一係 （8名）	庶務係 警防係 救急係	予防係 消防団係
消防第二係 （8名）		

<b>板倉消防署（21名）</b>		
消防署長（日勤）		
消防第一係 （10名）	庶務係 警防係 救急係	予防係 消防団係
消防第二係 （10名）		

<b>消防本部（38名）</b>		
<b>総務課（12名）</b>		・消防長含む。 ・次長含む。
総務課長		
庶務係 （3名）	・再任用 （1名）	
企画広報係兼会計係 （3名）		
防災航空隊派遣 （1名）		
群馬県消防学校教官 （1名）		
総務課付（2名）		
<b>予防課（8名）</b>		
予防課長		
設備係 （2名）		
予防係 （2名）		
保安係 （2名）	・再任用 （1名）	
<b>警防課（6名）</b>		
警防課長		
警防係 （1名）		
装備係 （2名）		
救急管理係 （1名）		
警防係兼救急管理係 （1名）		
<b>通信指令課（10名）</b>		
通信指令課長		・指令課長 （日勤）
指令第1係（4名）		・再任用 （1名）
指令第2係（4名）		

<b>明和消防署（21名）</b>		
消防署長（日勤）		
消防第一係 （10名）	庶務係 警防係 救急係	予防係 消防団係
消防第二係 （10名）		

<b>千代田消防署（21名）</b>		
消防署長（日勤）		
消防第一係 （10名）	庶務係 警防係 救急係	予防係 消防団係
消防第二係 （10名）		

<b>邑楽消防署（25名）</b>		
消防署長（日勤）		
消防第一係 （12名）	庶務係 警防係 救急係	予防係 消防団係 救助係
消防第二係 （12名）		

# 消防署及び分署事務分掌

## 庶務係

- 公印の保管に関する事。
- 文書の収発及び編さん保存に関する事。
- 予算の編成及び執行管理に関する事。
- 研修、服務に関する事。
- 事務事業の計画及び総合調整に関する事。
- 福利厚生及び安全衛生に関する事。
- 庁舎及び備品に関する事。
- 他の係に属さない事。

## 予防係

- 火災予防思想の普及啓発に関する事。
- 消防対象物の立入検査及び指導に関する事。
- 消防用設備等の設置指導及び検査に関する事。
- 火災の原因及び損害の調査に関する事。
- 火災予防に係る各種届出書の受理に関する事。
- 消防協力団体に関する事。
- その他火災予防に関する事。

## 警防係

- 火災その他の災害の警戒及び防ぎよに関する事。
- 消防水利の計画及び維持管理に関する事。
- 警防計画に関する事。
- 消防訓練に関する事。
- 消防車両等の保守管理及び整備に関する事。
- 消防警備に関する事。
- その他警防に関する事。

## 消防団係

- 消防団員の教養訓練に関する事。
- 消防団員の表彰に関する事。
- その他消防団の事務に関する事。

## 救急係

- 救急活動に関する事。
- 応急手当の普及啓発に関する事。
- 救急資機材の維持管理に関する事。
- 救急統計に関する事。

## 救助係

- 救助活動に関する事。
- 救助訓練、指導に関する事。
- 救助機器等の維持管理に関する事。
- 救助活動等の報告及び統計に関する事。



# 消防組合予算及び決算

## 組合予算歳入事項別明細

(単位：千円)

款	令和5年度	前年度	比較
1 分担金及び負担金	2,170,758	2,185,217	△ 14,459
2 使用料及び手数料	5,212	5,212	0
3 国庫支出金	14,819	0	14,819
4 県支出	7,638	626	7,012
5 財産収入	10	10	0
6 繰入金	40,343	25,679	14,664
7 繰越金	25,950	5,050	20,900
8 諸収入	5,198	5,965	△ 767
9 組合債	196,100	113,800	82,300
歳入合計	2,466,028	2,341,559	124,469

## 組合予算歳出事項別明細

(単位：千円)

款	令和5年度 予算額	前年度 予算額	比較	本年度予算額の財源内訳			
				特定財源			一般財源
				国県支出金	地方債	その他	
1 議会費	688	711	△ 23				688
2 総務費	4,632	4,935	△ 303			10	4,622
3 消防費	2,267,418	2,126,512	140,906	22,457	196,100	8,203	2,040,658
4 公債費	183,290	199,401	△ 16,111				183,290
5 予備費	10,000	10,000	0				10,000
歳出合計	2,466,028	2,341,559	124,469	22,457	196,100	8,213	2,239,258

# 構成市町別消防費内訳

## 館 林 市

(単位：千円)

予算額 年度	予算総額	消防費	比率	消 防 費 内 訳			
				常 備 消 防 費	非 常 備 消 防 費	消 防 施 設 費	防 災 費
令和5年度	29,810,000	1,004,425	3.37%	864,263	50,181	51,120	38,861
令和4年度	29,480,000	1,025,839	3.48%	875,603	51,039	53,356	45,841

## 板 倉 町

(単位：千円)

予算額 年度	予算総額	消防費	比率	消 防 費 内 訳			
				常 備 消 防 費	非 常 備 消 防 費	消 防 施 設 費	防 災 対 策 費
令和5年度	5,830,000	311,377	5.34%	239,305	25,113	17,601	29,358
令和4年度	6,082,000	717,831	11.80%	230,545	24,385	32,469	430,432

## 明 和 町

(単位：千円)

予算額 年度	予算総額	消防費	比率	消 防 費 内 訳			
				常 備 消 防 費	非 常 備 消 防 費	消 防 施 設 費	災 害 対 策 費
令和5年度	7,350,000	451,222	6.14%	203,566	24,172	30,045	193,439
令和4年度	6,670,000	430,521	6.45%	190,691	24,187	37,069	178,574

## 千 代 田 町

(単位：千円)

予算額 年度	予算総額	消防費	比率	消 防 費 内 訳			
				常 備 消 防 費	非 常 備 消 防 費	消 防 施 設 費	災 害 対 策 費
令和5年度	6,515,000	268,732	4.12%	204,250	23,676	20,758	20,048
令和4年度	5,483,000	250,705	4.57%	191,508	24,300	20,886	14,011

## 邑 楽 町

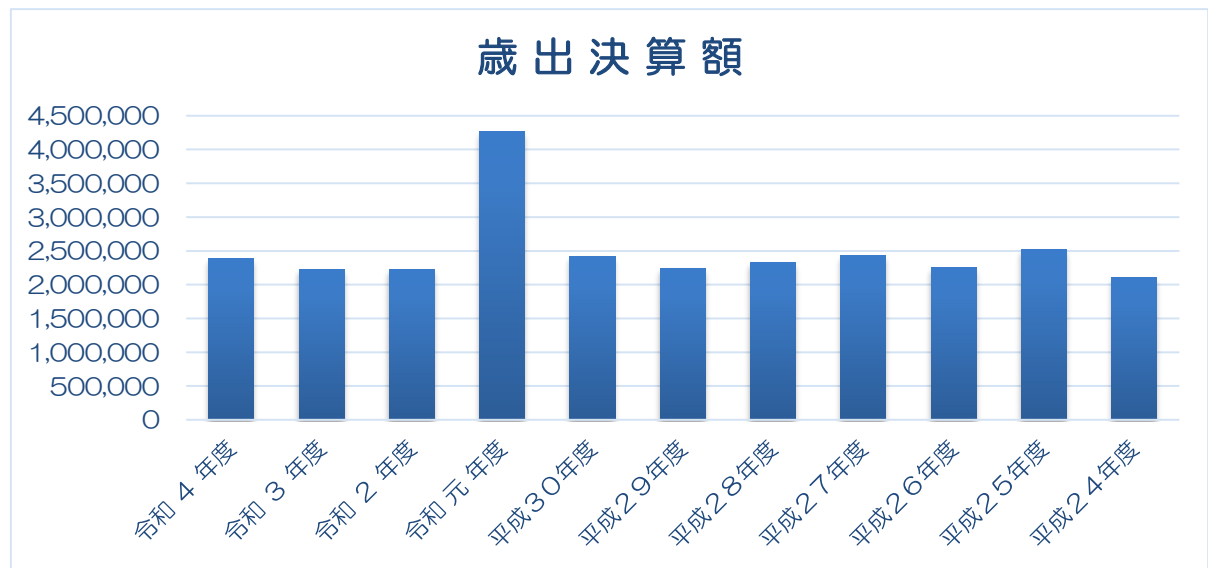
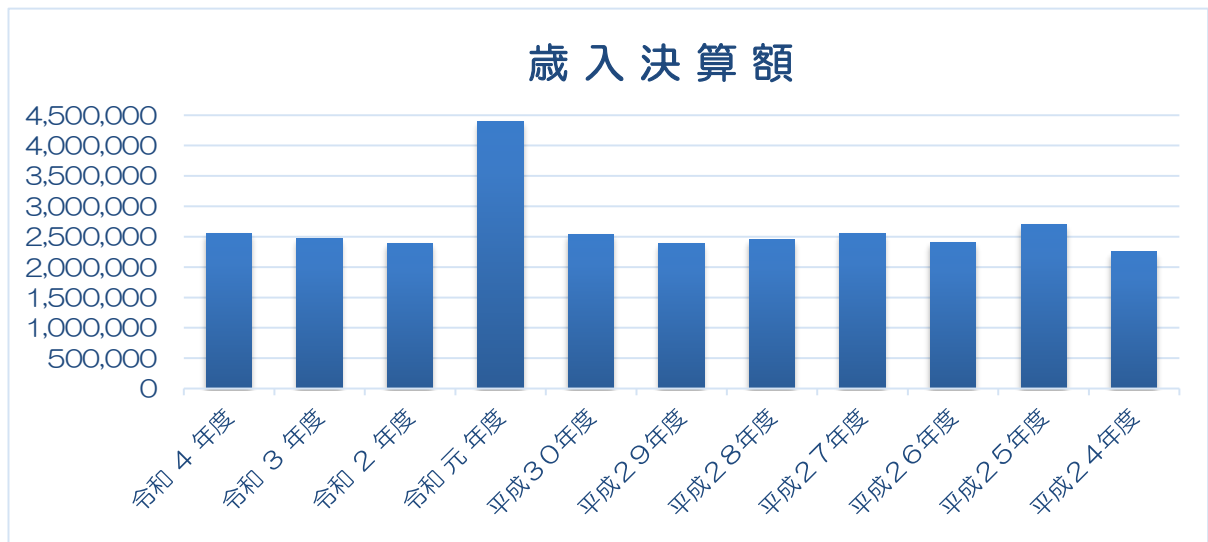
(単位：千円)

予算額 年度	予算総額	消防費	比率	消 防 費 内 訳			
				常 備 消 防 費	非 常 備 消 防 費	消 防 施 設 費	災 害 対 策 費
令和5年度	9,450,000	462,428	4.89%	357,656	50,320	30,307	24,145
令和4年度	8,955,000	437,105	4.88%	361,793	28,986	38,400	7,926

# 年度別 歳入歳出決算額

(単位：千円)

区分 年度	歳入決算額	歳出決算額	差引残高
令和4年度	2,555,043	2,390,592	164,451
令和3年度	2,466,038	2,231,467	234,571
令和2年度	2,393,135	2,226,536	166,599
令和元年度	4,395,272	4,261,255	134,017
平成30年度	2,534,017	2,419,496	114,521
平成29年度	2,387,011	2,236,434	150,577
平成28年度	2,457,012	2,328,881	128,131
平成27年度	2,550,121	2,434,804	115,317
平成26年度	2,400,783	2,247,862	152,921
平成25年度	2,697,716	2,519,556	178,160
平成24年度	2,248,430	2,102,901	145,529



# 消防職員の現況

## 消防吏員等現員調

令和5年4月1日現在

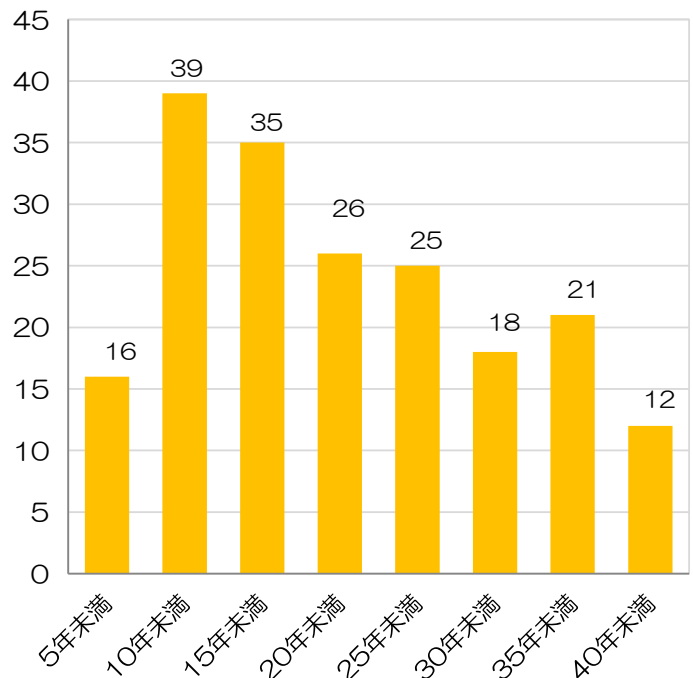
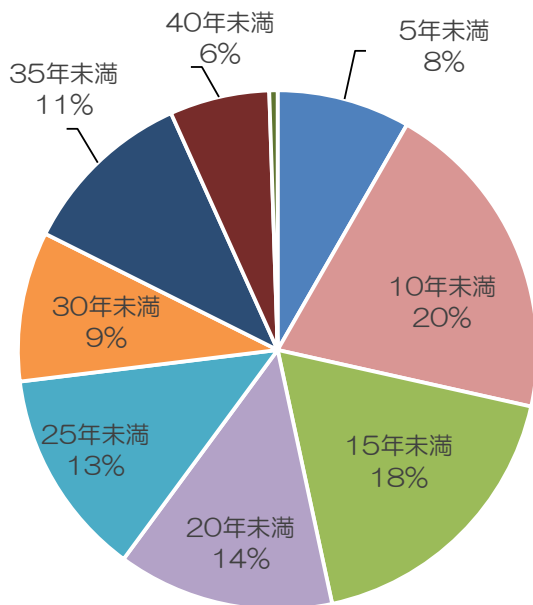
階 級 別 所 属 別		消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	合 計
		消 防 本 部	消 防 長	1					
本 部 次 長			1						1
総務課			1	1	6	3	1		12
課 長			1						1
庶務係				1	2	1			4
企画広報係兼会計係					2	1			3
防災航空隊派遣					1				1
県消防学校出向					1				1
総務課付						1	1		2
予防課			1	1	4	2			8
課 長			1						1
予 防 係					2				2
設 備 係					2				2
保 安 係				1		2			3
警防課			1	1	4				6
課 長			1						1
警 防 係					2				2
装 備 係					2				2
救急管理係				1					1
通信指令課			1	1	6	2			10
課 長			1						1
通信指令課員				1	6	2			9
小 計	1		5	4	20	7	1		38
館林消防署			2	4	25	5	3	12	51
北 分 署									
西 分 署				2	7	2	5		16
板倉消防署			1	2	8	4	2	4	21
明和消防署			1	2	8	1	7	2	21
千代田消防署			1	2	9	3	2	4	21
邑楽消防署			1	2	9	5	5	3	25
小 計			6	14	66	20	24	25	155
合 計	1		11	18	86	27	25	25	193

※再任用短時間職員含む

# 消防吏員勤続年数調

令和5年4月1日現在

勤続年数	階級	消防監	消防司令長	消防司令	消防副司令	消防補士	消防士	消防副長	消防副士	消防士長	消防士	計
1年未満											4	4
1年以上～2年未満											2	2
2年以上～3年未満											4	4
3年以上～4年未満											3	3
4年以上～5年未満										1	2	3
5年以上～6年未満										1	4	5
6年以上～7年未満										5	5	10
7年以上～8年未満										6	1	7
8年以上～9年未満										5		5
9年以上～10年未満								5		7		12
10年以上～11年未満						1		5				6
11年以上～12年未満								4				4
12年以上～13年未満						4		5				9
13年以上～14年未満						8		1				9
14年以上～15年未満						5		2				7
15年以上～16年未満						8		1				9
16年以上～17年未満						9						9
17年以上～18年未満												0
18年以上～19年未満						4		1				5
19年以上～20年未満						3						3
20年以上～21年未満						5						5
21年以上～22年未満						6						6
22年以上～23年未満						8						8
23年以上～24年未満						2						2
24年以上～25年未満				1		3						4
25年以上～26年未満				1		1						2
26年以上～27年未満						6						6
27年以上～28年未満						1						1
28年以上～29年未満				2								2
29年以上～30年未満				4		3						7
30年以上～31年未満				2		6						8
31年以上～32年未満				3								3
32年以上～33年未満				2		1						3
33年以上～34年未満			1	2		1						4
34年以上～35年未満			3									3
35年以上～36年未満			6									6
36年以上～37年未満	1		1	1		1		1				5
37年以上～38年未満								1				1
38年以上～39年未満												0
39年以上～40年未満												0
40年以上～41年未満												0
41年以上								1				1
合計		1	11	18	86	27	25	25	25	25	193	
平均勤続年数		36.0	34.6	30.0	20.0	14.3	7.4	3.4				17.3

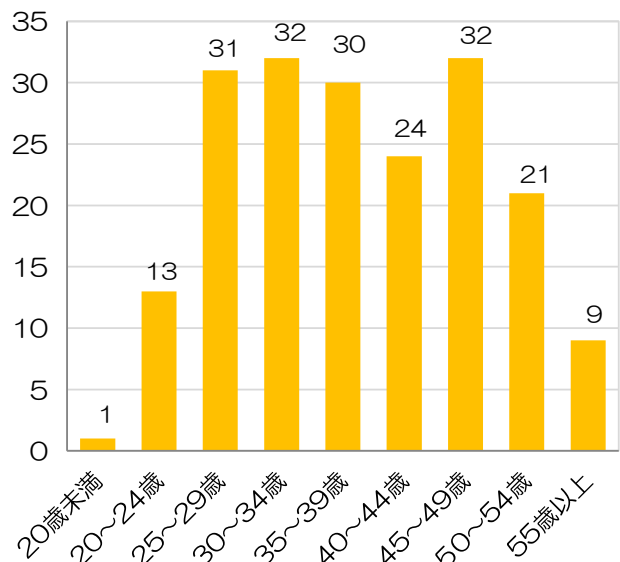
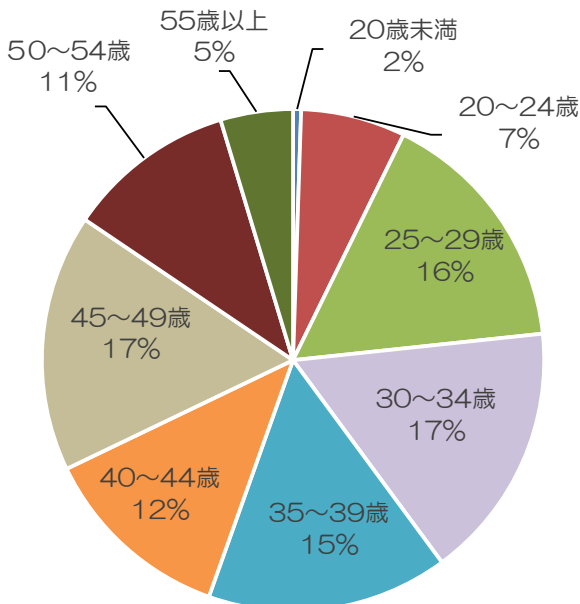


# 消防吏員年齢調

令和5年4月1日現在

年齢	階級	消防監	消防司令	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士	消防長	消防副士	消防長	消防士	計
18歳												0
19歳											1	1
20歳											1	1
21歳											1	1
22歳											2	2
23歳											4	4
24歳											5	5
25歳											7	7
26歳										2	2	4
27歳										6	1	7
28歳										6	1	7
29歳										6		6
30歳										5	3	8
31歳										3		3
32歳										5	2	7
33歳							5			5		10
34歳							4					4
35歳							7			1		8
36歳							2			3		5
37歳							7			1		8
38歳							2					2
39歳							6			1		7
40歳							2					2
41歳							5					5
42歳							5					5
43歳							5					5
44歳							7					7
45歳							5					5
46歳						1	8					9
47歳						1	1					2
48歳						2	5					7
49歳						5	4					9
50歳						3	2					5
51歳							4				2	7
52歳							1					2
53歳							5				1	6
54歳							1					1
55歳											1	2
56歳											1	1
57歳											2	2
58歳											1	1
59歳												0
60歳											2	2
61歳												0
62歳												0
63歳											1	1
合計		1	11	18	86	27	25	25				193
平均年齢		58.0	53.9	49.7	41.8	35.9	28.4	23.9				38.4

## 消防吏員年齢別人数



# 消防職員の研修状況

## 派遣研修

令和5年3月31日現在

種 別		人数	延日数
群馬県消防学校（群馬県前橋市）			
初任教育	初任科（75期）	5人	168日
専科教育	警防科（50期）	4人	14日
	予防査察科（44期）	2人	15日
	危険物科（44期）	2人	9日
	火災調査科（44期）	2人	12日
	救急科（28期）	2人	54日
	救助科（50期）	2人	29日

種 別		人数	延日数
消防大学校（東京都調布市）			
専科教育	救助科（第84期）	1人	53日

種 別		人数	延日数
救急救命東京研修所（東京都八王子市）			
	新規救急救命士養成研修（前期）	1人	193日
	新規救急救命士養成研修（後期）	1人	193日
救急救命九州研修所（福岡県北九州市）			
	感染防止対策強化研修	1人	5日
	指導救命士養成研修	1人	42日
公立館林厚生病院 病院実習			
	就業前病院実習	2人	26日
	再教育病院実習	25人	3日
県立がんセンター			
	気管挿管実習	1人	23日
公立館林厚生病院 病院実習			
	気管挿管ビデオ硬性喉頭鏡実習	1人	10日
前橋赤十字病院 病院実習			
	薬剤投与病院実習	3人	19日

# 消防相互応援協定の状況

※ 協定団体名にあっては、協定締結時の名称

協定名	締結年月日	業務内容	協定団体
消防相互応援協定	昭和44年7月31日 (再) 昭和55年6月16日	消防・救急・救助業務	佐野市
東北自動車道内の館林・佐野藤岡インターチェンジ間における消防相互応援に関する協定	昭和47年11月13日 (再) 平成26年4月1日	東北自動車道消防・救急業務	佐野市
消防相互応援協定	昭和55年6月16日	消防・救急・救助業務	足利市
消防相互応援協定	昭和63年12月27日	水火震災及びその他の災害	藤岡町
消防相互応援協定	平成元年3月28日	消防・救急・救助業務	栃木地区広域行政事務組合
東北高速道路管内市町(組合)の消防相互応援協定	昭和52年4月1日 (再) 平成27年3月27日	火災又は救急事故の災害	埼玉県羽生市 埼玉県川口市 埼玉県さいたま市 埼玉県蓮田市 埼玉県東部消防組合
地震等災害における消火活動業務に関する協定	平成10年4月1日	水の供給	群馬県東毛生コンクリート事業協同組合
災害時における消防用水等に関する協定	平成31年4月18日		
携帯電話等からの119番通報転送等に関する協定	平成10年9月21日	通報・伝達業務	太田市消防本部 桐生市外六か町村広域市町村振興整備組合
群馬県防災航空隊支援協定	平成18年3月27日	特定していない	群馬県
群馬県消防相互応援協定	昭和49年12月24日 (再) 平成30年12月13日	特定していない	前橋市消防本部 高崎市等広域消防局 桐生市消防本部 伊勢崎市消防本部 太田市消防本部 利根沼田広域消防本部 渋川地区広域消防本部 多野藤岡広域消防本部 富岡甘楽広域消防本部 吾妻広域消防本部
消防相互応援協定	昭和51年1月14日	水火震災及びその他の災害	加須地区消防組合
千代田町防災行政用無線運用協定	平成元年6月16日	無線運用	千代田町
鉄道災害時における鉄道事業者と消防機関との連携に関する協定	平成21年7月1日	鉄道災害・鉄道沿線の火災	東武鉄道株式会社 太田市消防本部 桐生市消防本部 伊勢崎市消防本部
足利赤十字病院ドクターカー運用に関する協定	平成21年8月19日	救急業務	足利赤十字病院
消防相互応援協定	平成23年2月18日	火災(大規模災害・特殊災害) 救急事故等	羽生市
消防相互応援協定	平成23年4月1日	火災(大規模災害・特殊災害) 救急事故等	行田市
消防相互応援協定	平成23年12月27日	火災(大規模災害・特殊災害) 救急事故等	茨城西南地方広域市町村圏事務組合
消防相互応援協定	平成25年5月8日	火災(大規模災害・特殊災害) 救急事故等	埼玉東部消防組合
消防相互応援協定(消防団)	平成25年9月1日	水火震災及びその他の災害	加須市
特殊災害消防対策相互応援協定	昭和51年12月20日 (再) 平成26年4月1日	特殊災害 (危険物施設・中高層建物火災等の特殊災害及び多数の死傷者等が予測される災害)	桐生市 伊勢崎市 太田市 足利市 佐野市
消防相互応援協定	平成29年9月26日	水難事故	熊谷市
災害時における食料・物資供給等に関する協定	令和3年8月5日	食料・物資の供給等	株式会社とりせん



予 防



# 令和4年中の火災発生状況

令和4年1月1日～令和4年12月31日

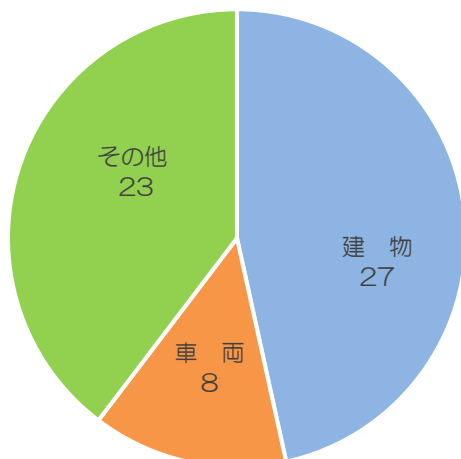
区分 市町 (注1)	火災件数					焼損棟数		り災世帯数		り災人員	死傷者		建物焼損
	建物	車両	その他	計	出火率 (注2)	全半焼	ぼや部分焼	全半損	小損		死者	傷者	床面積(注3) (単位㎡)
館林市 74,427	12	2	7	21	2.8 件 ( 1.6 )	3	10	2	7	26		7	235 ( 19.6 )
板倉町 13,880	4	2	4	10	7.2 件 ( 2.9 )	2	4	1		1		1	215 ( 53.8 )
明和町 10,875	3	1	3	7	6.4 件 ( 2.8 )	3	2	1	2	7			214 ( 71.3 )
千代田町 11,021	3		1	4	3.6 件 ( 2.7 )		3						28 ( 9.3 )
邑楽町 25,810	5	3	8	16	6.2 件 ( 1.9 )	2	4		2	3	1	2	222 ( 44.4 )
計 136,013	27	8	23	58	4.3 件 ( 2.0 )	10	23	4	11	37	1	10	914 ( 33.9 )

注1 管内人口 令和5年1月1日現在(単位人)。

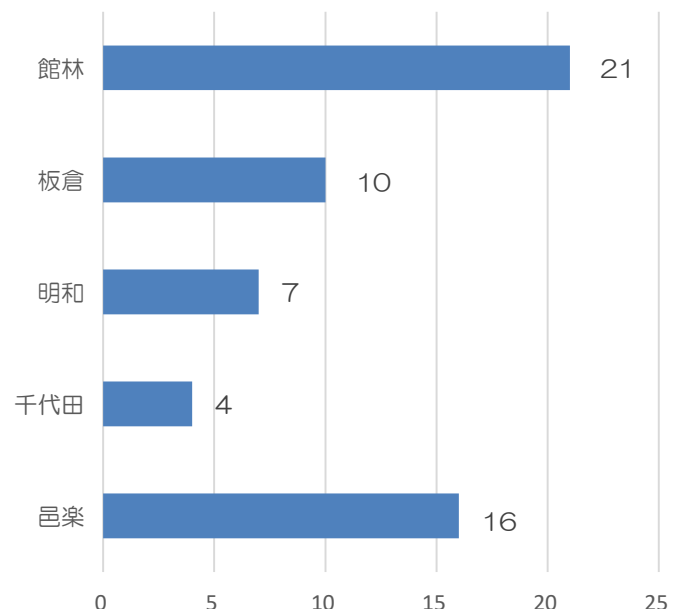
注2 出火率欄の( )内は、建物火災の出火率を再掲。(人口1万人あたり)

注3 建物焼損床面積欄の( )内は、建物火災1件あたりの焼損面積。

火災件数



市町別件数



## 市町・原因別火災発生状況

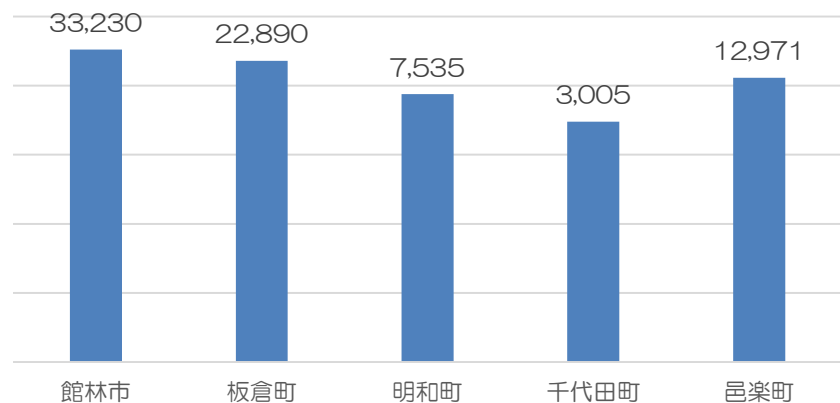
原因別	令和4年中					
	館林市	板倉町	明和町	千代田町	邑楽町	合計
たばこ	3	2	1		2	8
こんろ	1					1
かまど						0
風呂かまど						0
炉						0
焼却炉						0
ストーブ	1					1
こたつ						0
ボイラー						0
煙突・煙道						0
排気管					1	1
電気機器					1	1
電気装置	2					2
電灯・電話等の配線	1					1
内燃機関						0
配線器具	1					1
火遊び		1				1
マッチ・ライター						0
たき火	2		4	1	4	11
溶接機・切断機					1	1
灯火						0
衝突の火花	1					1
取灰		1				1
火入れ	1	4	1			6
放火					1	1
放火の疑い		1				1
その他	6		1	3	4	14
不明	2	1			2	5
合計	21	10	7	4	16	58

## 市町別火災種別及び損害額

( ) 件数・下段損害額 (単位千円)

種別 \ 市町別	館林市	板倉町	明和町	千代田町	邑楽町	合計
建 物	(12) 22,844	(4) 22,710	(3) 6,830	(3) 3,005	(5) 11,707	(27) 67,096
林 野	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0
車 両	(2) 3,775	(2) 180	(1) 705	(0) 0	(3) 1,264	(8) 5,924
そ の 他	(7) 6,611	(4) 0	(3) 0	(1) 0	(8) 0	(23) 6,611
合 計	(21) 33,230	(10) 22,890	(7) 7,535	(4) 3,005	(16) 12,971	(58) 79,631

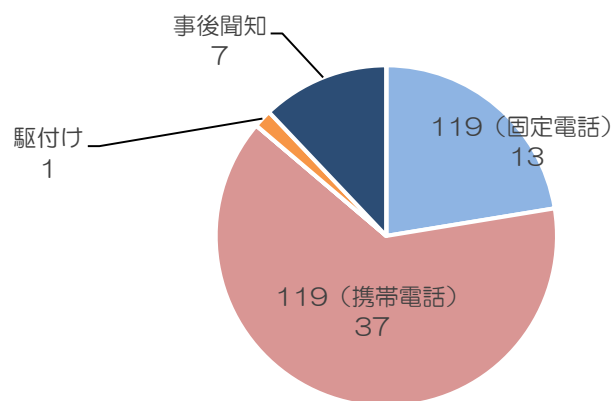
## 市町別損害額



## 覚知別火災件数

覚知種別	火災件数
119 (固定電話)	13
119 (携帯電話)	37
加入 (固定電話)	0
加入 (携帯電話)	0
警 察	0
駆 付 け	1
事 後 聞 知	7
そ の 他	0
合 計	58

## 覚知別火災件数

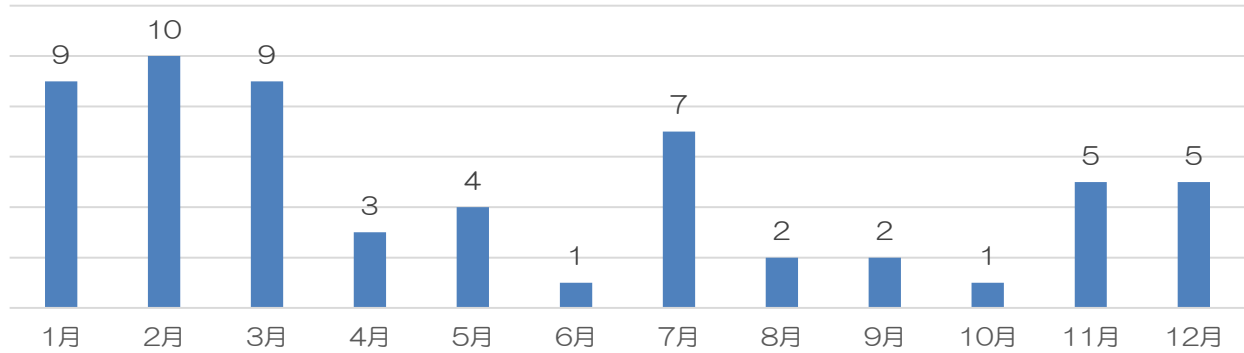


## 月別火災発生状況

(件)

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
9	10	9	3	4	1	7	2	2	1	5	5	58

## 月別火災件数

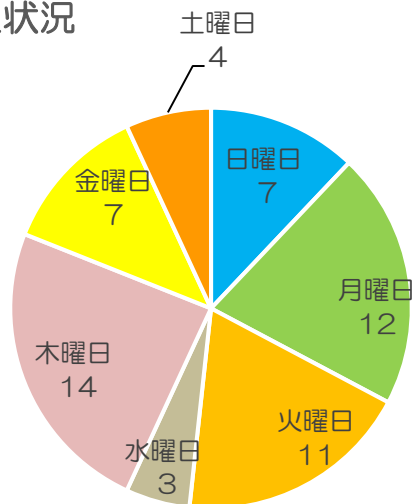


## 曜日別火災発生状況

(件)

日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	不明	合計
7	12	11	3	14	7	4	0	58

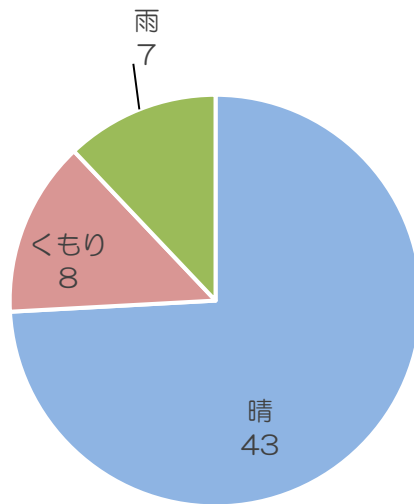
## 曜日別火災発生状況



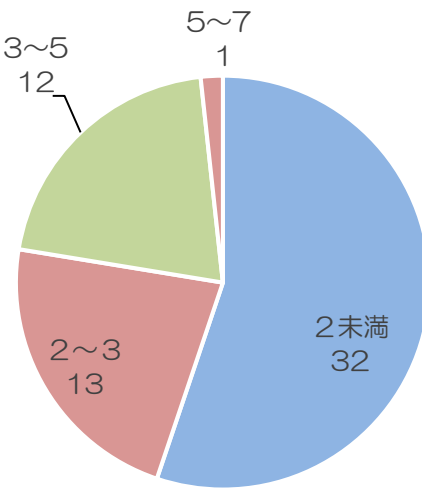
# 気象別火災件数

		(件)
区 分		計
天 気	晴	43
	くもり	8
	雨	7
	雪	0
	雷	0
	小 計	58
風 速 m	2未満	32
	2~3	13
	3~5	12
	5~7	1
	7~10	0
	10以上	0
	小 計	58
湿 度 %	40未満	20
	40~50	9
	50~60	10
	60~70	3
	70~80	3
	80~90	5
	90以上	8
	小 計	58

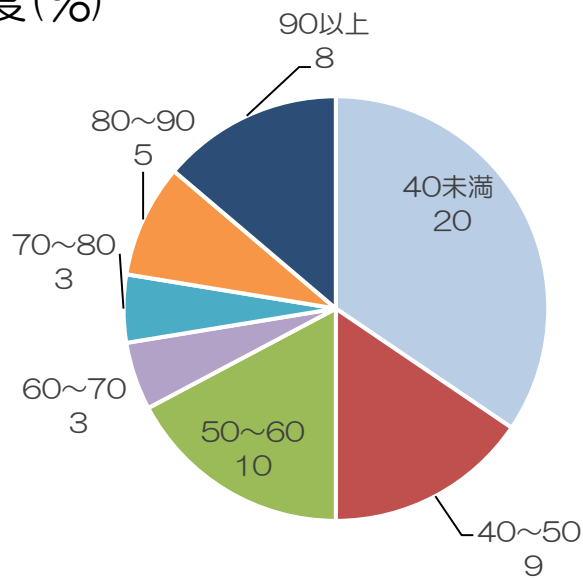
天気



風速(m)



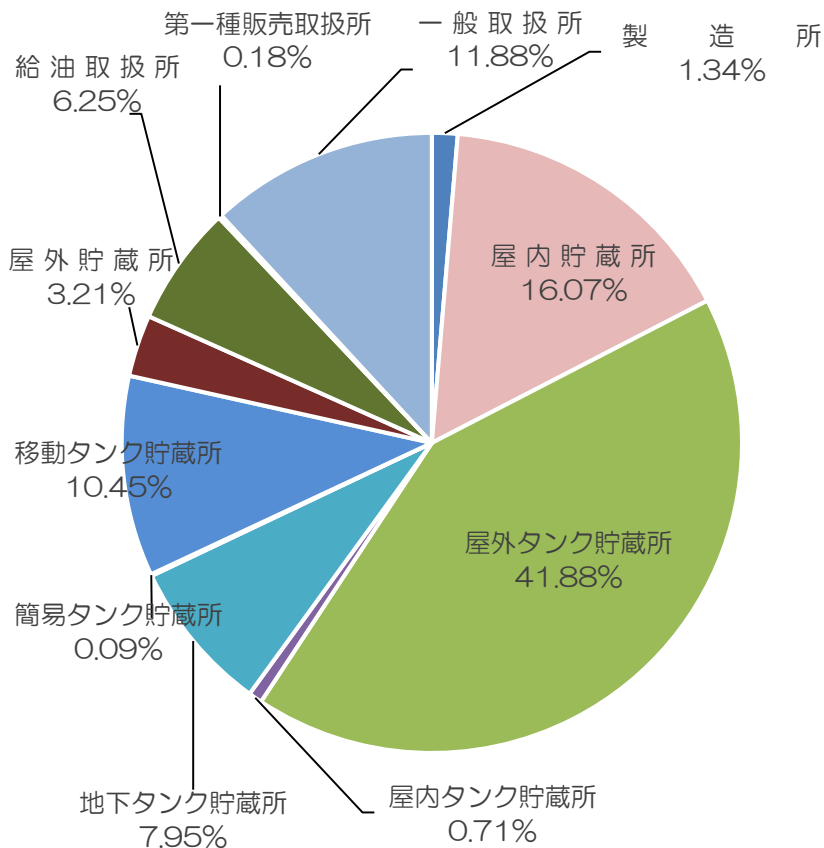
湿度(%)



## 危険物製造所等の管内設置状況

令和5年3月31日現在

製造所等の別		総数
合計		1,120
製造所		15
貯蔵所	小計	900
	屋内貯蔵所	180
	屋外タンク貯蔵所	469
	屋内タンク貯蔵所	8
	地下タンク貯蔵所	89
	簡易タンク貯蔵所	1
	移動タンク貯蔵所	117
	屋外貯蔵所	36
	取扱所	小計
給油取扱所		70 (38)
第一種販売取扱所		2
一般取扱所		133 (12)
事業所		638



注 ・給油取扱所の（ ）中には、自家用の給油取扱所の数を再掲  
 ・一般取扱所の（ ）中には、小口詰替の一般取扱所の数を再掲

## 危険物製造所等の事務処理状況

令和4年4月1日～令和5年3月31日まで

製造所等の別	区分	総数	許可		完成		仮使用	廃止届
			設置	変更	設置	変更		
合計		149	15	39	11	30	30	24
製造所		24		8		8	8	
貯蔵所	小計	58	13	8	9	6	2	20
	屋内貯蔵所	16	5	2	3	2	1	3
	屋外タンク貯蔵所	5						5
	屋内タンク貯蔵所	1						1
	地下タンク貯蔵所	6		2		1	1	2
	簡易タンク貯蔵所	0						
	移動タンク貯蔵所	27	7	4	5	3		8
	屋外貯蔵所	3	1		1			1
	取扱所	小計	67	2	23	2	16	20
給油取扱所		24	1	9	1	5	6	2
第一種販売取扱所		0						
一般取扱所		43	1	14	1	11	14	2



# 危険物製造所等の数量別調査表

令和5年3月31日現在

区分 製造所等の別		総数	数量別								
			5倍以下	5倍超 10倍以下	10倍超 50倍以下	50倍超 100倍以下	100倍超 150倍以下	150倍超 200倍以下	200倍超 1000倍以下	1000倍超 5000倍以下	5000倍超 10,000倍以下
合計		1,120	590	192	165	70	37	13	38	8	7
製造所		15	1	5	5	3				1	
貯蔵所	小計	900	542	134	98	55	27	10	22	5	7
	屋内貯蔵所	180	82	40	24	7	5	7	5	3	7
	屋外タンク貯蔵所	469	348	39	40	23	4	2	12	1	
	屋内タンク貯蔵所	8	4	4							
	地下タンク貯蔵所	89	32	23	25	3	2	1	2	1	
	簡易タンク貯蔵所	1	1								
	移動タンク貯蔵所	117	63	6	7	22	16		3		
	屋外貯蔵所	36	12	22	2						
取扱所	小計	205	47	53	62	12	10	3	16	2	
	給油取扱所	70	1	10	28	6	7	3	14	1	
	第一種販売取扱所	2	1		1						
	一般取扱所	133	45	43	33	6	3		2	1	

# 危険物製造所等の類別調査表

令和5年3月31日現在

種別 製造所等の別		総数	類別						混在
			第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	第6類	
合計		1,120	1	2		1,101	1	1	14
製造所		15				12			3
貯蔵所	小計	900	1	2		884	1	1	11
	屋内貯蔵所	180	1	2		165	1		11
	屋外タンク貯蔵所	469				469			
	屋内タンク貯蔵所	8				7		1	
	地下タンク貯蔵所	89				89			
	簡易タンク貯蔵所	1				1			
	移動タンク貯蔵所	117				117			
	屋外貯蔵所	36				36			
取扱所	小計	205				205			
	給油取扱所	70				70			
	第一種販売取扱所	2				2			
	一般取扱所	133				133			

# 数量別タンク検査状況

令和4年4月1日～令和5年3月31日まで

検査別 \ 数量別	計	10kl以下	10kl超 1,000kl以下	1,000kl超 2,000kl以下	2,000kl超
水張検査	8	8	0	0	0

検査別 \ 数量別	計	600ℓ以下	600ℓ超 10kl以下	10kl超 20kl以下	20kl超
水圧検査	116	0	7	70	39

# 消防用設備等の点検報告等実施状況

令和5年3月31日現在

対象物 用途別		点検を要する対象物			報告済対象物			点検対象物	
		総数	1000 ㎡ 未満	1000 ㎡ 以上	総数	1000 ㎡ 未満	1000 ㎡ 以上	要点検 1000 ㎡ 以上	点検済 1000 ㎡ 以上
1	劇場・映画館	5	1	4	3		3	4	3
	公会堂・集会所	61	45	16	39	29	10	16	10
2	キャバレー等	6	5	1	1		1	1	1
	遊戯場等	14	9	5	5	3	2	5	2
	性風俗関連特殊営業店舗等	1	1						
	カラオケボックス等	3	3		3	3			
3	待合・料理店	4	4		1	1			
	飲食店	233	233		96	96			
4	百貨店・マーケット	286	219	67	165	116	49	67	49
5	旅館・ホテル	25	18	7	13	6	7	7	7
	共同住宅・寮	1,327	1,217	110	400	332	68	110	68
6	病院・診療所	84	65	19	47	29	18	19	18
	老人短期入所施設等	85	52	33	58	33	25	33	25
	老人デイサービスセンター等	128	105	23	84	66	18	23	18
	幼稚園・特別支援学校	11	5	6	10	4	6	6	6
7	学校	138	53	85	131	48	83	85	83
8	図書館	11	6	5	11	6	5	5	5
9	蒸気・熱気浴場等	1	1						
	公衆浴場								
10	停車場	7	3	4	4	1	3	4	3
11	神社・寺院	41	39	2	15	13	2	2	2
12	工場・作業場	1,249	853	396	608	313	295	396	295
	映画スタジオ等								
13	車庫・駐車場	21	20	1	6	5	1	1	1
	航空機の格納庫	1		1	1		1	1	1
14	倉庫	701	477	224	357	206	151	224	151
15	事務所等	528	421	107	269	179	90	107	90
16	複合用途	307	280	27	71	53	18	27	18
	上記以外の用途	112	103	9	22	14	8	9	8
16の2 地下街									
17	重要文化財	1	1		1	1			
合計		5,391	4,239	1,152	2,421	1,557	864	1,152	864

# 消防用設備等設置状況

消防用設備等 用途別		消 防 用 設 備 等 設 置 対 象 物 数					
		自動火災 報知設備	スプリンク レ 設 備	屋内消火 栓 設 備	漏電火災 警 報 器	非 常 警 報 設 備	屋外消火 栓 設 備
1	劇 場 ・ 映 画 館	5	1	3		3	1
	公 会 堂 ・ 集 会 所	52	2	10		48	
2	キ ャ バ レ ー 等	2		2		1	
	遊 戯 場 等	11		5		9	
	性風俗関連特殊営業店舗等	1					
	カラオケボックス等	3					
3	待 合 ・ 料 理 店	2					
	飲 食 店	41		1	1	38	
4	百 貨 店 ・ マ ー ケ ッ ト	135	13	18	2	54	
5	旅 館 ・ ホ テ ル	25				1	
	共 同 住 宅 ・ 寮	85	1	4		39	
6	病 院 ・ 診 療 所	42	13	11		18	
	老人短期入所施設等	86	85	5		6	
	老人デイサービスセンター等	87	3	6	1	15	
	幼稚園・特別支援学校	12		4		1	
7	学 校	121		85		27	10
8	図 書 館	8		3		3	1
9	蒸 気 ・ 熱 気 浴 場 等	1					
	公 衆 浴 場						
10	停 車 場	4		4			
11	神 社 ・ 寺 院	7		2		12	
12	工 場 ・ 作 業 場	620	1	283	1	4	103
	映 画 ス タ ジ オ 等						
13	車 庫 ・ 駐 車 場	5					
	航 空 機 の 格 納 庫	1					
14	倉 庫	351	1	164		4	61
15	事 務 所 等	148		52	2	64	8
16	複 合 用 途	88	7	7	1	21	
	上 記 以 外 の 用 途	12		2	2	11	1
16の2	地 下 街						
17	重 要 文 化 財	1					
合 計		1,956	127	671	10	379	185

令和5年3月31日現在

消 防 用 設 備 等 設 置 対 象 物 数					消 火 設 備 の み		
避 難 器 具	排 煙 設 備	誘 導 灯	消 防 用 水	連 結 送 水 管	非 常 電 源		
					専 用 受 電	自 家 発 電	蓄 電 池
	2	5				4	
5	2	59			1	10	
1		5					
1		14			1	2	
		1					
1		3					
		2					
2		122			1		
2		242	3			27	
2		20		2			
119	5	37		13	6		
8		74		2		14	
18		86				29	2
9		119			1	5	1
		10					
15		59			71	4	
2		7				2	
		1					
		1			4		
1		4			1		
3		250	68	5	242	16	
		1					
		168					
1		150	45	1	159	10	2
11		140	10	6	43	7	
20	1	15		5	4	9	
14				1	5		
235	10	1,595	126	35	539	139	5

# 防火管理者選任状況等調

令和5年3月31日現在

届出数 対象物区分		法第8条該当		管理権原単一防火対象物数			
		防火対象物数		防火管理者届出済数		消防計画届出済数	
		甲種	乙種	甲種	乙種	甲種	乙種
1	劇場・映画館	2		2		2	
	公会堂・集会所	38	10	36	6	35	6
2	キャバレー等		1				
	遊戯場等	3	2	3	2	3	2
	性風俗関連特殊営業店舗等						
	カラオケボックス等						
3	待合・料理店	1		1		1	
	飲食店	21	79	19	39	19	38
4	百貨店・マーケット	50	60	38	27	38	27
5	旅館・ホテル	3		3		3	
	共同住宅・寮	9	1	8	1	8	1
6	病院・診療所	4	2	2	1	2	1
	老人短期入所施設等	45		41		41	
	老人デイサービスセンター等	51	6	49	6	48	6
	幼稚園・特別支援学校	4		4		4	
7	学校	24	2	24	1	24	1
8	図書館	4		4		4	
9	蒸気・熱気浴場等		1		1		1
	公衆浴場						
10	停車場						
11	神社・寺院	12	7	12	3	12	3
12	工場・作業場	94	5	84	2	82	2
	映画スタジオ等						
13	車庫						
	航空機の格納庫						
14	倉庫	28	1	21	1	21	1
15	事務所等	37	13	32	7	32	7
16	複合用途	18	14	13	4	13	4
	上記以外の用途	4	2	2		2	
16の2	地下街						
17	重要文化財						
計		452	206	398	101	394	100

# 月別建築同意件数

区分	月別	令和4年									令和5年			合計
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
館 林 市	新築	10	5	3	8	7	9	14	10	7	1	4	14	92
	増築		1			1	1				1		1	5
	改築													
	移転													
	模様替													
	用途変更									1				1
	小計	10	6	3	8	8	10	14	10	8	2	4	15	98
板 倉 町	新築	1	2	4	3	4	1			2	1	2	2	22
	増築			1										1
	改築													
	移転													
	模様替													
	用途変更													
	小計	1	2	5	3	4	1			2	1	2	2	23
明 和 町	新築	1	2	1		1	1	4	3	1	1	1	2	18
	増築													
	改築													
	移転													
	模様替													
	用途変更							1			1			2
	小計	1	2	1		1	2	4	3	1	2	1	2	20
千 代 田 町	新築		1	3	2	2		2		4	2	2	2	20
	増築										1			1
	改築													
	移転													
	模様替													
	用途変更													
	小計		1	3	2	2		2		4	3	2	2	21
邑 楽 町	新築	6	1	2	1	3	1	5	2	5	2	2	1	31
	増築	2					1	1		1				5
	改築													
	移転													
	模様替			1										1
	用途変更													
	小計	8	1	3	1	3	2	6	2	6	2	2	1	37
合 計	新築	18	11	13	14	17	12	25	15	19	7	11	21	183
	増築	2	1	1		1	2	1		1	2		1	12
	改築													
	移転													
	模様替			1										1
	用途変更						1			1	1			3
	合計	20	12	15	14	18	15	26	15	21	10	11	22	199

用途別5階以上建物一覧（延べ面積150㎡以上）

令和5年3月31日現在

用途別		階数	5階未満	5階	6階	7階	8階	9階	10階	11階	12階以上	計
1	劇場・映画館		5									5
	公会堂・集会所		103									103
2	キャバレー等		4									4
	遊戯場等		14									14
	性風俗関連特殊営業店舗等		1									1
	カラオケボックス等		3									3
3	待合・料理店		4									4
	飲食店		136									136
4	百貨店・マーケット		259									259
5	旅館・ホテル		9	3	1	1	1					15
	共同住宅・寮		1,302	21	4	5	3	1	1	1	2	1,340
6	病院・診療所		76	2			1					79
	老人短期入所施設等		86									86
	老人デイサービスセンター等		114									114
	幼稚園・特別支援学校		12									12
7	学校		142	1								143
8	図書館		12	1								13
9	蒸気・熱気浴場等		1									1
	公衆浴場											
10	停車場		9									9
11	神社・寺院		91	1								92
12	工場・作業場		1,278	3	3	1						1,285
13	車庫・駐車場		24									24
	航空機の格納庫		1									1
14	倉庫		723	1	1							725
15	事務所等		695	5	2	1						703
16	複合用途		351	3	1	3	1				1	360
	上記以外の用途		208	2	2		1					213
<sup>16の2</sup>	地下街											
17	重要文化財		1									1
合計			5,664	43	14	11	7	1	1	1	3	5,745



# 月別各種届出受理件数

令和4年4月1日～令和5年3月31日

区 分	令和4年												合計
	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
炉・かまど						1							1
ボイラー 給湯湯沸設備		1	1	4		2		2		4	4		18
乾燥設備	1		2	2			1			2			8
変電設備	8	1	2	3	4	7	3	4	13	8	2	6	61
発電設備	1		3	1			1	2	2	1		1	12
蓄電池設備	1	1		3	1			3	3	2	1	3	18
水素ガスを 充てんする気球													
少量危険物		1	6	2	3		6	1			2	1	22
指定可燃物		1	3	4	1	1			1	1	1	1	14
圧縮アセチレン等	2	6	1	2	9	3	5	3	2	4	3	5	45
ネオン管灯設備													
火災とまぎらわしい行為		2	1	3	2	3	1	1	6	2	1		22
催物の開催	8	9	21	12	14	9	16	9	10	4	5	6	123
禁止行為の解除	2	2	1	1	1	1		1			1	5	15
煙火	1	1			2	2	1	1		1	1		10
消防活動上 支障のある行為	9	6	12	9	13	8	12	7	7	12	2	6	103
合計	32	31	51	43	56	34	48	33	46	35	25	38	472

# 署別・月別立入検査実施状況

令和4年4月1日～令和5年3月31日

区 別	令和4年												合計	
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
館林消防署	防火対象物	17	117	74	73	1	1	48	47	36	30	12	1	457
	危険物施設等		11	44	12	1	2	2	30			1	24	127
	小計	17	128	118	85	2	3	50	77	36	30	13	25	584
板倉消防署	防火対象物			7	5				2	14	6	7		41
	危険物施設等						1		16				22	39
	小計			7	5		1		18	14	6	7	22	80
明和消防署	防火対象物	12	18	19	8			11	11	4	25	11	12	131
	危険物施設等				5				13				1	19
	小計	12	18	19	13			11	24	4	25	11	13	150
千代田消防署	防火対象物	2	6	45				17	11		9	18	10	118
	危険物施設等								9			1	17	27
	小計	2	6	45				17	20		9	19	27	145
邑楽消防署	防火対象物	17	30	27	13			19	8	17	10	4	3	148
	危険物施設等						1		8				3	12
	小計	17	30	27	13		1	19	16	17	10	4	6	160
合計	48	182	216	116	2	5	97	155	71	80	54	93	1119	

## 防火管理者講習会受講者数

実施年月	受講者数	講習内容
昭和36年～昭和61年	1,903人	普通講習
昭和62年～平成19年9月	2,732人	甲種防火管理者資格取得講習会
平成20年9月	132人	//
合計	4,767人	※平成21年より日本防火・防災協会へ委託

## 防災講習会受講者数

地区名	第一回実施日	実施回数	認定書交付数	クラブ数	会(隊)員数
館林市	昭和53年12月20日	59回	3,007	40	20,044
板倉町	昭和61年3月25日	35回	1,456	15	5,788
明和町	平成2年2月17日	31回	1,165	16	4,293
千代田町	昭和59年2月8日	36回	1,506	17	150
邑楽町	昭和55年11月4日	40回	2,935	34	10,484
合計		201回	10,069	122	40,759

## 各種団体

### (1) 館林地区防火安全協会(平成29年4月1日設立)

地区名	会員事業所数
館林地区	286
板倉地区	59
明和地区	63
千代田地区	75
邑楽地区	119
合計	602

※主な事業

- ・危険物取扱者試験に係る講習会
- ・県外研修視察の実施
- ・各地区の防災訓練等の参加協力
- ・危険物保安管理研修会の実施
- ・危険物安全週間への協力
- ・通報消火競技大会

(春の火災予防運動中、毎年)

平成29年4月より、館林地区危険物安全協会(昭和35年2月8日設立)並びに館林地区防火対象物連絡協議会(昭和60年5月18日設立)が合併されたことにより、新たに館林地区防火安全協会が発足されました。

### (2) 少年消防クラブ

地区名	クラブ数	隊員数
館林地区	16	3,643
板倉地区	3	647
明和地区	3	537
千代田地区	3	552
邑楽地区	6	1,180
合計	31	6,559

・対象 - 小学生(4・5・6年)及び中学生。

### (3) 幼年消防クラブ

地区名	クラブ数	隊員数
館林地区	21	1,760
板倉地区	4	316
明和地区	1	273
千代田地区	2	257
邑楽地区	6	605
合計	34	3,211

・対象 - 幼稚園、保育園及び認定こども園児。  
・事業として毎年1地区を選出して(輪番制)、幼年消防クラブ大会を実施。

警  
言

防



# 消防車両配置一覧表

令和5年4月1日現在

所属	名称	種別	車両型式	車両番号	ポンプ性能	購入年	備考
本部	指揮監察車	普 指揮監察車	日産 セレナ	群馬544そ101		R4.8	リース
	事務連絡車	普 普通連絡車	日産 ラティオ	群馬537り30		H27.10	防火対象物連絡協議会寄贈
	事務連絡車	普 普通連絡車	トヨタ カローラ	群馬503す8247		H29.3	危険物安全協会寄贈
	本部ワゴン	普 普通連絡車	日産 セレナ	群馬502み7178		H25.11	
	館林本部2	緊 警防車	トヨタ ハイエース	群馬800せ6904		H28.2	
	館林本部4	緊 査察広報車	日産 キューブ	群馬800す6552		H17.10	防火対象物連絡協議会寄贈
	館林資材1	緊 資材輸送車	日野 デュトロ	群馬800そ1883		R5.3	パワーゲート付
	館林本部司令1	緊 指揮統制車	トヨタ ハイエース	群馬800そ1281		H23.1	
	館林火災調査1	緊 火災調査車	トヨタ ハイエース	群馬800せ5937		H26.10	
	館林水防1	緊 水防資器材運搬車	日野 デュトロ	群馬800せ2871		H23.3	クレーン・パワーゲート付
	館林北広報1	緊 査察広報車	ダイハツ ハイゼット	群馬80あ1898		H14.8	
	館林人員輸送1	普 人員輸送車	日野 リエッセ	群馬200さ969		H16.5	
	合計		12台				
館林消防署	館林指揮1	緊 署指揮隊車	トヨタ ハイエース	群馬800せ5956		H26.11	
	館林1	緊 水槽付ポンプ車	日野 水-Ⅱ	群馬800は1257	A2級	H20.12	水2,000ℓ
	館林2	緊 普通ポンプ車	三菱 CD-I	群馬800さ5120	A2級	H12.12	
	館林化学1	緊 化学消防車	いすず 化-Ⅱ	群馬830せ211	A2級	H28.2	薬剤 500ℓ (災害対応)
	館林水槽1	緊 小型動力ポンプ付水槽車	いすず ギガⅡ型	群馬800は621	B2級	H15.11	水10,000ℓ
	館林梯子1	緊 梯子付消防車	日野 30m級	群馬830ら119		H17.3	水路管付先端屈折
	館林救助1	緊 救助工作車	日野 工作車Ⅱ型	群馬830せ902		H23.2	
	館林照明1	緊 照明車兼資材輸送車	三菱 キャンター	群馬88ぬ8165		H10.3	
	救急館林1	緊 高規格救急車	トヨタ ハイメディック	群馬800せ6661		H27.11	
	救急館林2	緊 高規格救急車	日産 パラメディック	群馬800せ6077		H27.1	
	水防車(軽)	普 水防資器材運搬車	ダイハツ ハイゼット	群馬480た9280		H27.2	
	救助艇1号	普 救助艇(ウレタンボート)	AU400	230-58152		R5.3	定員6人
	救助艇4号	普 救助艇(ゴムボート)	SEI-400	230-48511		H17.7	定員6人
トレーラー	普 船舶積載用トレーラー	QINGDAO	群馬800る2321		R5.3		
合計		14台(救助艇を除く)					
北分署	館林北1	緊 水槽付ポンプ車	日野 水-Ⅱ	群馬800は1637	A2級	H25.1	水2,000ℓ
	館林10	緊 水槽付ポンプ車	日野 水-Ⅱ	群馬800は529	A2級	H13.2	水2,000ℓ
	救急館林北1	緊 高規格救急車	日産 パラメディック	群馬800せ5276		H26.1	
	水防車(軽)	普 水防資器材運搬車	三菱 ミニキャブ	群馬41よ4185		H15.2	
	フォークリフト	普 フォークリフト	トヨタ	館林市ろ1747		H22.2	
合計		5台					

所属	名称	種別	車両型式	車両番号	ポンプ性能	購入年	備考	
西 分 署	館林西1	緊	水槽付ポンプ車	日野 水ーⅡ	群馬831て55	A2級	R3.3	水2,000ℓ（災害対応）
	救急館林西1	緊	高規格救急車	トヨタ ハイメディック	群馬830せ9903		R4.10	
	館林西広報1	緊	査察広報車	ダイハツ ハイゼット	群馬80あ1830		H14.3	
	水防車（軽）	普	水防資器材運搬車	ダイハツ ハイゼット	群馬480す7290		H24.4	
	救助艇7号	普	救助艇（ゴムボート）	LRB-330			H29.6	定員6人
	合計		4台（救助艇を除く）					
板 倉 消 防 署	板倉1	緊	水槽付ポンプ車	いすず 水ーⅡ	群馬830ほ51	A2級	H29.3	水2,000ℓ（災害対応）
	板倉2	緊	普通ポンプ車	日野 CDーⅠ	群馬800せ3771	A2級	H24.3	水700ℓ
	板倉重機1	緊	重機搬送車	日野 レンジャー	群馬800は1654		H25.3	総務省消防庁無償貸与
	板倉重機	緊	重機（3t級）	コマツ PC30MR-3			H25.3	総務省消防庁無償貸与
	救急板倉1	緊	高規格救急車	トヨタ ハイメディック	群馬830そ9905		R1.10	
	板倉広報1	緊	査察広報車	日産 サニー	群馬800さ7610		H13.9	
	水防車（軽）	普	水防資器材運搬車	ダイハツ ハイゼット	群馬41め1611		H12.12	
	救助艇2号	普	救助艇（ウレタンボート）	AU450W	230-57981		R4.8	定員9人
	救助艇8号	普	救助艇（ゴムボート）	LRB-330			H29.6	定員6人
	合計		6台（重機・救助艇を除く）					
明 和 消 防 署	明和1	緊	水槽付ポンプ車	日野 水ーⅡ	群馬800は1583	A2級	H24.3	水2,000ℓ
	救急明和1	緊	高規格救急車	トヨタ ハイメディック	群馬830せ9906		R3.11	
	明和広報1	緊	査察広報車	日産 セレナ	群馬800せ4178		H24.9	
	水防車（軽）	普	水防資器材運搬車	ダイハツ ハイゼット	群馬480す4790		H24.2	
	救助艇5号	普	救助艇（ゴムボート）	LRB-330			H28.6	定員6人
	合計		4台（救助艇を除く）					
千 代 田 消 防 署	千代田1	緊	水槽付ポンプ車	日野 水ーⅡ	群馬800は1433	A2級	H22.11	水2,000ℓ
	救急千代田1	緊	高規格救急車	トヨタ ハイメディック	群馬830す9907		R2.12	
	千代田広報1	緊	査察広報車	日産 セレナ	群馬800せ3393		H23.10	
	千代田資器材1	緊	資器材搬送車	日産 アトラス	群馬80に6520		H4.11	
	水防車（軽）	普	水防資器材運搬車	三菱 ミニキャブ	群馬41よ4186		H15.2	
	救助艇3号	普	救助艇（ゴムボート）	FRB-380	230-57181		H8.11	定員6人
	牽引車	緊	その他（連絡車）	三菱 パジェロ	群馬800せ2860		H23.2	
	トレーラー	普	船舶積載用トレーラー	QINGDAO	群馬800る2117		R2.10	
	合計		7台（救助艇を除く）					
邑 楽 消 防 署	邑楽1	緊	水槽付ポンプ車	日野 水ーⅡ	群馬830な54	A2級	H31.3	水2,000ℓ（災害対応）
	邑楽2	緊	救助資器材搭載水槽付ポンプ車	いすず 水ーⅠB	群馬800は1838	A2級	H27.2	水1,500ℓ
	救急邑楽1	緊	高規格救急車	トヨタ ハイメディック	群馬830さ9908		H29.9	
	邑楽広報1	緊	査察広報車	トヨタ アリオン	群馬800さ9851		H14.8	
	邑楽資器材1	緊	資器材搬送車	日産 アトラス	群馬88に8232		H6.2	
	水防車（軽）	普	水防資器材運搬車	ダイハツ ハイゼット	群馬41も9716		H13.11	
	救助艇6号	普	救助艇（ゴムボート）	LRB-330			H28.6	定員6人
	合計		6台（救助艇を除く）					

## 救急救命士

### 1 救急業務

救急活動は、急病人や事故等による怪我人に対して応急処置を実施し、適切な医療機関へ迅速に搬送することにより、救命率の向上と症状の悪化防止を図ることを主な目的としております。当消防組合は、昭和33年6月1日から救急自動車を配備して、救急業務を開始しました。現在は、高規格救急自動車8台（うち予備車1台）を配備し、多様化する住民のニーズに対応しております。

### 2 救急救命士

平成3年に救急救命士法が制定されてから、当消防組合においては、平成6年度に初めての救急救命士が誕生しました。令和5年4月現在、救急救命士の有資格者は61名（うち女性3名）となっております。

また、救命率向上のために処置範囲の拡大が検討され、メディカルコントロール体制（①救急隊に対する医師の指示、指導・助言、②医師による救急活動の事後検証、③救急救命士を含む救急隊員の再教育）の整備を条件として、平成15年4月から医師の指示なく除細動が実施できるようになりました。さらに群馬県の認定を受けた救急救命士に限り、平成16年7月から気管挿管の実施、平成18年4月からアドレナリン（心拍再開を補助する強心剤）の使用、平成27年4月からビデオ硬性挿管用喉頭鏡の使用、心肺機能停止前の重度傷病者に対する静脈路確保及び輸液、血糖測定並びに低血糖発作症例へのブドウ糖溶液の投与が認められました。

### 救急救命士編成表

消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	合計
4	5	21	11	13	7	61

令和5年4月1日現在

### 平成6年から令和4年までの応急手当講習 及び普通救命講習指導結果集計表

項目 署別	人口	応急手当 講習回数	受講者数	普通救命Ⅰ（3時間講習）		普通救命Ⅱ（4時間講習）	
				普通救命Ⅰ 講習回数	受講者数	普通救命Ⅱ 講習回数	受講者数
館林消防署	74,427	1,243	48,214	1,008	15,307	98	2,145
板倉消防署	13,880	259	10,854	282	4,746	2	52
明和消防署	10,875	137	4,477	248	4,431	22	443
千代田消防署	11,021	146	9,327	185	3,645	107	2,536
邑楽消防署	25,810	318	7,631	252	5,409	18	272
合計	136,013	2,103	80,503	1,975	33,538	247	5,448

人口は令和5年1月1日現在

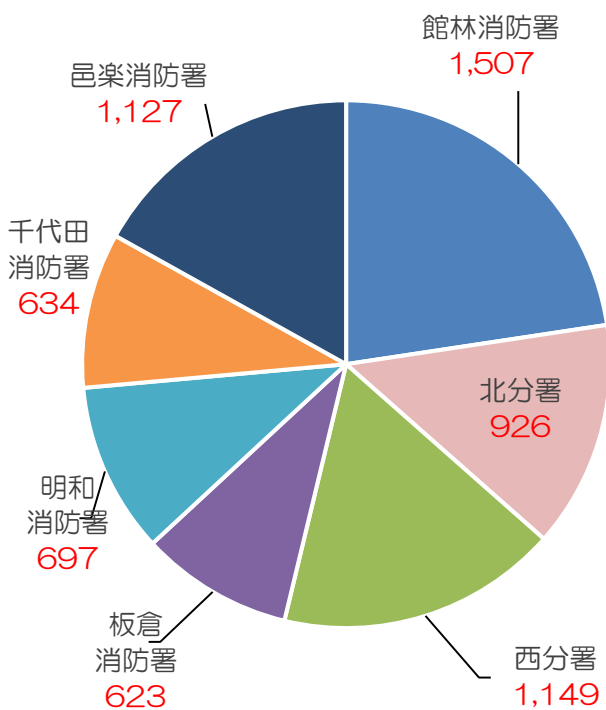
# 令和4年中の救急出場状況

令和4年1月1日～令和4年12月31日

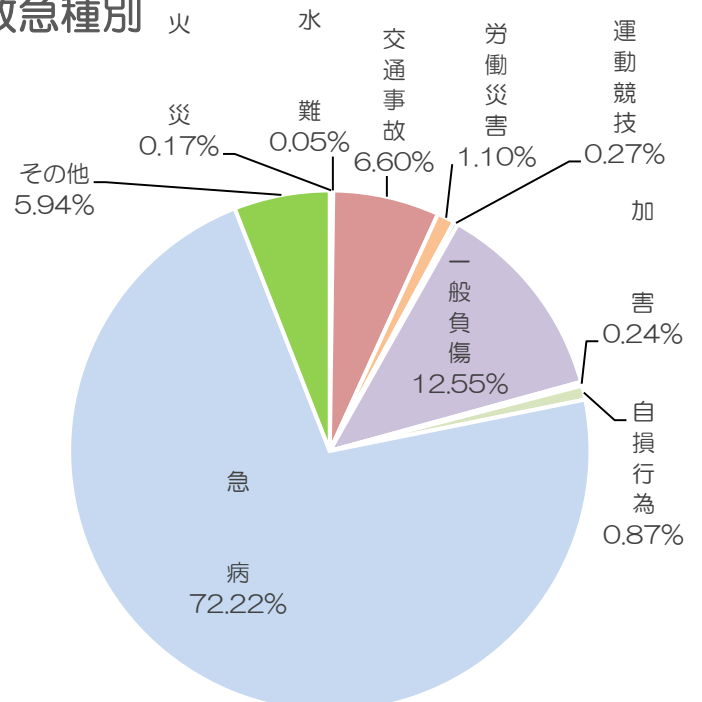
区分	合計	救急事故種別														不搬送	
		火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他					
												転院搬送	医師搬送	資器材等搬送	その他		
組合	出場件数	6,663	11		3	440	73	18	836	16	58	4,812	368	1		27	1,021
	搬送人員	5,688	10			378	70	18	733	11	38	4,063	367				
館林消防署	出場件数	1,507	3		1	113	9	5	166	8	10	1,072	114			6	197
	搬送人員	1,325	3			104	9	5	154	5	9	922	114				
北分署	出場件数	926	1		2	60	11	1	102	1	6	690	47			5	112
	搬送人員	819	2			47	11	1	89	1	3	618	47				
西分署	出場件数	1,149	5			59	10	3	148	1	9	837	77				183
	搬送人員	972	3			51	9	3	129	1	8	692	76				
板倉消防署	出場件数	623				40	7	2	83	1	8	474	4			4	95
	搬送人員	531				34	7	2	73	1	5	405	4				
明和消防署	出場件数	697	1			52	11	1	95	2	9	487	34	1		4	101
	搬送人員	603	1			50	11	1	83	1	7	415	34				
千代田消防署	出場件数	634	1			41	8	1	108	1	8	442	18			6	95
	搬送人員	544	1			35	7	1	96	1	5	380	18				
邑楽消防署	出場件数	1,127				75	17	5	134	2	8	810	74			2	238
	搬送人員	894				57	16	5	109	1	1	631	74				

※空欄は「0」とする

### 救急件数



### 救急種別





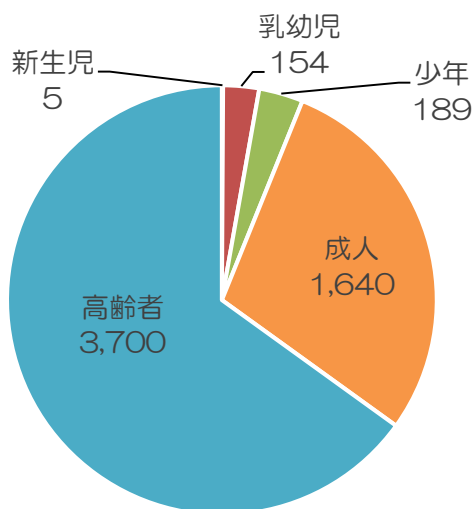
# 事故種別・年齢区分別・傷病程度別搬送人員

令和4年1月1日～令和4年12月31日

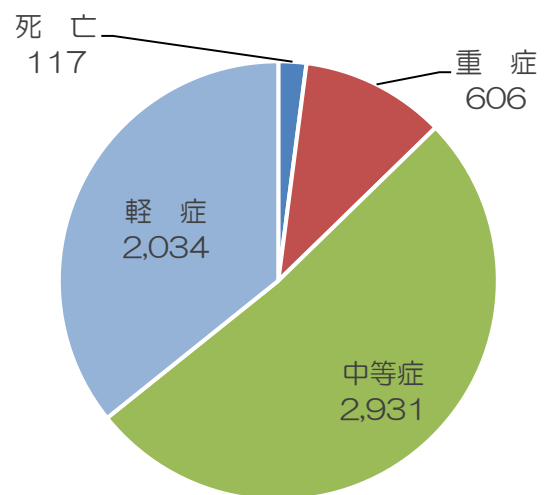
年齢区分	事故種別 傷病程度	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	計
		新生児	死亡										
	重症												
	中等症										1	4	5
	軽症												
	その他												
	計										1	4	5
乳幼児	死亡												
	重症										1		1
	中等症				1			3			23		27
	軽症				4			31			90	1	126
	計				5			34			114	1	154
少年	死亡									3	1	1	5
	重症									2	31	1	51
	中等症				6		1	10					
	軽症	1			27		9	17			78	1	133
	計	1			33		10	27		5	110	3	189
成人	死亡				1					1	11		13
	重症	2			7	7		2	1	2	85	12	118
	中等症	1			57	24	2	45	3	15	501	72	720
	軽症	3			159	28	4	79	5	6	490	15	789
	計	6			224	59	6	126	9	24	1087	99	1,640
高齢者	死亡				4			4		3	92	1	104
	重症	1			7			44		2	358	70	482
	中等症	2			44	6	1	252	1	4	1640	178	2,128
	軽症				61	5	1	246	1		661	11	986
	計	3			116	11	2	546	2	9	2751	260	3,700
合計	死亡				5			4		4	103	1	117
	重症	3			14	7		46	1	7	445	83	606
	中等症	3			108	30	4	310	4	21	2196	255	2,931
	軽症	4			251	33	14	373	6	6	1319	28	2,034
	計	10			378	70	18	733	11	38	4063	367	5,688

※空欄は「0」とする

## 年齢区分別搬送人員



## 傷病程度別搬送人員

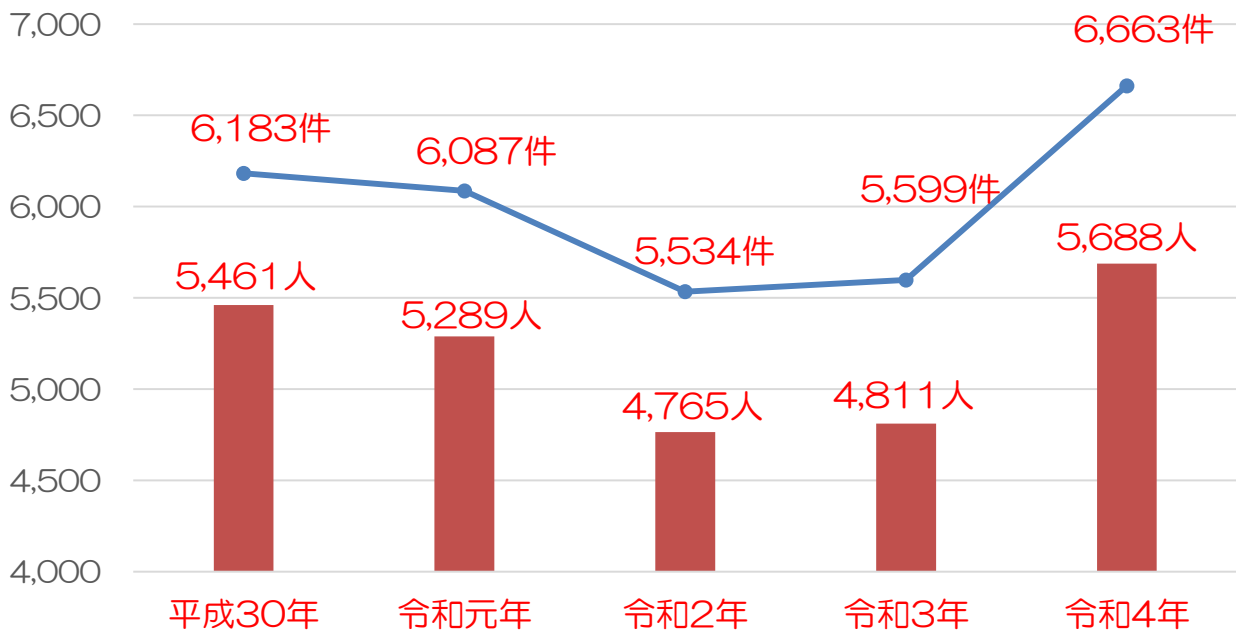


# 救急出場（搬送人員）推移

令和4年12月31日現在

署 別		年 別		平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
館 林 消 防 署	出場件数	1,627件	1,573件	1,339件	1,285件	1,507件		
	搬送人員	1,415人	1,374人	1,180人	1,141人	1,325人		
西 分 署	出場件数	1,097件	1,067件	975件	734件	926件		
	搬送人員	988人	899人	864人	640人	819人		
北 分 署	出場件数	776件	810件	752件	985件	1,149件		
	搬送人員	712人	719人	641人	852人	972人		
板 倉 消 防 署	出場件数	585件	579件	513件	496件	623件		
	搬送人員	519人	518人	449人	426人	531人		
明 和 消 防 署	出場件数	506件	496件	528件	593件	697件		
	搬送人員	439人	424人	454人	525人	603人		
千代田消防署	出場件数	558件	558件	489件	542件	634件		
	搬送人員	490人	492人	423人	453人	544人		
邑 楽 消 防 署	出場件数	1,034件	1,004件	938件	964件	1,127件		
	搬送人員	898人	863人	754人	774人	894人		
合 計	出場件数	6,183件	6,087件	5,534件	5,599件	6,663件		
	搬送人員	5,461人	5,289人	4,765人	4,811人	5,688人		

## 組合出場件数及び搬送人員



## 救助隊

発 足 昭和49年12月1日

目 的 水上及び陸上の災害に対処し、人命の被害を軽減するため救難救助の基礎訓練を重ね、技術錬磨、救助訓練を通じて、規律、協同の精神を養い、救難救助の万全を図ること。

## 特別救助隊

発 足 平成25年7月1日

当組合では平成25年7月に、救助隊の編成、装備及び配置の基準を定める省令（昭和61年 自治省令第22号）第4条の基準に従い、館林消防署に配置されました。

救助器具並びに当該救助器具を積載することができる救助工作車1台、30m級はしご車等を備え、隊員が日々訓練に励んでいます。

### 救助隊の任務

- (1) 人命検索及び救助活動
- (2) 消防破壊活動
- (3) 火災防御活動
- (4) 災害の防御活動
- (5) その他消防長又は消防署長等の命ずる防災活動

### 特別救助隊編成表

令和5年3月31日現在

区 分	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消 防 士	合 計
隊 長		2				2
副 隊 長		2				2
隊 員		7	1			8
合 計		11	1			12

## 救助隊資機材一覧

救助器具	名 称	数量	名 称	数量
一般救助用器具	かぎ付き梯子	3	三連梯子	2
	金属製折りたたみ梯子		空気式救助マット	1
	ワイヤー梯子	1	サバイバースリング	1
	救命索発射銃	1	救命用縛帯	10
	平坦架			
重量物排除用器具	油圧ジャッキ	3	油圧スプレッター	
	可搬ウィンチ	2	マンホール救助器具	1
	大型油圧スプレッター	2	マット型空気ジャッキ	2
	救助用支柱器具	1		
切断用器具	油圧切断機	2	エンジンカッター	2
	ガス溶断器	1	チェーンソー	2
	鉄線カッター	2	空気鋸	2
	空気切断機	2	コンクリート・鉄筋切断用 チェーンソー	1
	大型油圧切断機	2		
破壊用器具	万能斧	4	ハンマー	3
	削岩機	1	携帯用コンクリート破壊器 具	2
	ハンマドリル	3		
検知・測定用器具	生物剤検知器	1	可燃性ガス測定器	3
	有毒ガス測定器	4	酸素濃度測定器	3
	放射線測定器	14		
呼吸保護用用具	空気呼吸器	12	空気補充用ポンペ	
	酸素呼吸器	5	簡易呼吸器	
	防塵マスク	11	送排風機	1
隊員保護用器具	耐電手袋	5	耐電衣	2
	耐電ズボン	2	耐電長靴	2
	携帯警報器	8	防毒マスク	22
	陽圧式化学防護服	7	化学防護服 (陽圧式化学防護服を除く)	92
	放射線防護服	2		
除染用器具	除染シャワー	1	除染剤散布器	4
水難救助用器具	潜水器具	8	救命胴衣	53
	水中投光器	5	救命浮環	15
	浮標	14	救命ボート	3
	船外機	3		
山岳救助用器具	登山器具	2	バスケット型担架	3
検索用器具	簡易画像探索機	2	熱画像直視装置	1
その他の救助用器具	投光器		携帯投光器	2
	携帯拡声器	3	携帯無線機	6
	応急処置用セット	2	車両移動器具	1
	緩降機	2	ロープ登降機	2
	救助用降下機		発電機	3

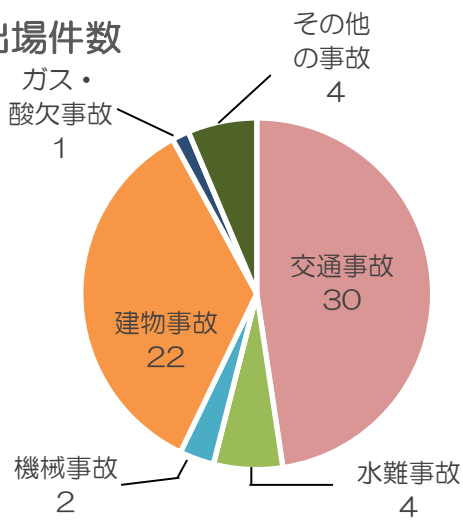
# 令和4年中の救助出場状況

## 事故種別統計

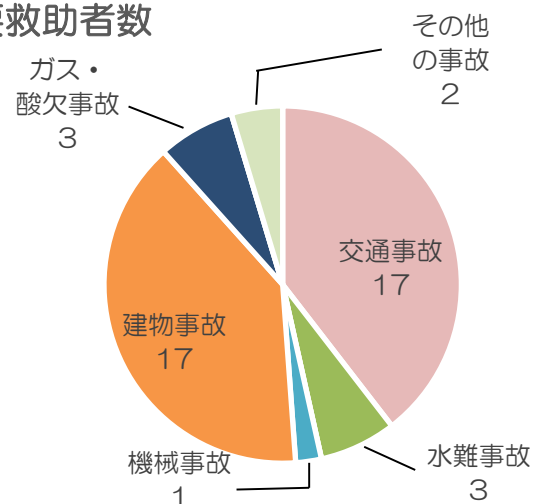
令和4年1月1日～令和4年12月31日

	合計	事故種別								
		火災	交通事故	水難事故	自然災害事故	機械事故	建物事故	ガス・酸欠事故	爆発事故	その他の事故
出場件数	63		30	4		2	22	1		4
活動有無	42		16	3		1	19	1		2
活動有無比率	67%	0%	53%	75%	0%	50%	86%	100%	0%	50%
要救助者数	43		17	3		1	17	3		2

出場件数



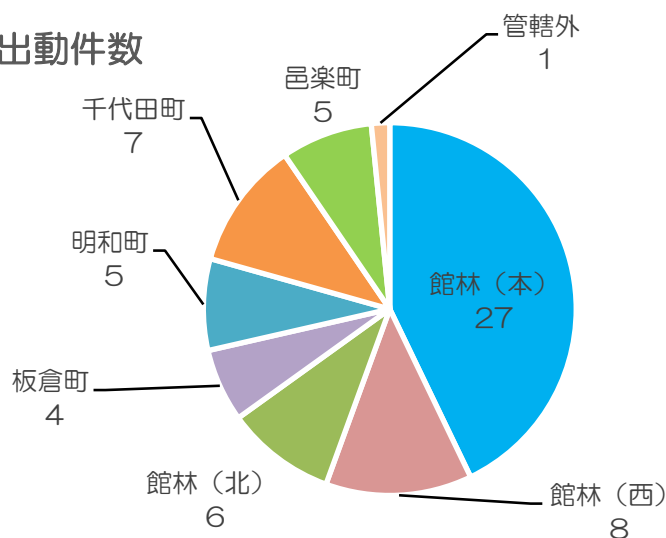
要救助者数



## 管内別統計

	合計	館林(本)	館林(西)	館林(北)	板倉町	明和町	千代田町	邑楽町	管轄外
出場件数	63	27	8	6	4	5	7	5	1
活動有無	42	16	6	6	2	5	3	4	

管内別出動件数







通信指令課





# 通信指令課

## ・高機能消防指令システム

### 指令装置

本装置は、消防・救急及び各種災害の通信網を構成する主要機器で、主に住民からの119番通報を受付、受理するための装置です。

館林地区消防組合管内からの119番通報は、全てこの指令台に入り、同時に複数の通報を受付出来るよう主・副2座席及び補助2座席となっており、錯綜する災害にも対処できます。

また、受付内容（火災か救急か・どこで発生したか等）によって、各署所に設置した署所端末装置に各種指令（一斉・個別等）を行うことができ、救急病院に対するワンタッチ呼出しや、庁内放送及び各種車両の動態（活動状況）の把握、無線による消防車・救急車等の交信を一括して円滑かつ効率的に行える機能を備えています。

（株）富士通ゼネラル HA-524ODMA

名 称	回線容量	適 用
携 帯 電 話 1 1 9 番 受 付 回 線 I P 電 話 ( 3 社 )	20以上	[実装14] 固定・IP電話・携帯・ヘルプネット(8)・転送(2) 衛星(2)緊急通報システム用(2)
指 令 回 線	9以上	[実装9] 消防署・分署(7) 館林第二浄水場(1) 館林ガス(1)
局 線	8以上	[実装3]
専 用 回 線	14	[実装3] 館林厚生病院 NEXCO FAX転送
無 線 回 線	6以上	[実装6] (デジタル)活動波1、2・主運用波・統制波1、2、3
内 線	2	[実装2]
庁内放送回線（一斉及び10群切替）	5	[実装5]
有 無 線 接 続 回 線	4	[実装4]
電 話 帳 登 録 件 数	1,000	[実装410]
ワ ン タ ッ チ ダ イ ヤ ル	60	[実装40]
車 両 表 示 設 定	50	[実装49]
録音回線（主及び副扱者用）	4	[実装4]
自 動 出 動 指 定 回 路	4	[実装4]
ヒ ュ ー ズ 警 報 回 路	4	[実装4]
時刻表示回路・時刻補正機能付	4	[実装4]
119番受付回数表示	2	[実装2]
扱 者 回 路	4	[実装4]
割 込 回 路 ( 各 席 相 互 )	4	[実装4]
受話増幅回路(10dBアップ)	4	[実装4]
通話モニター回路(他席相互)	4	[実装4]
予 告 ト ー ン 送 出 回 路	4	[実装4]
指 令 制 御 回 路	4	[実装4]
指 令 室 応 答 表 示 回 路	4	[実装4]
指 令 室 確 受 表 示 回 路	4	[実装4]
署 所 ア ン プ 起 動 制 御 回 路	4	[実装4]
信号回路(現用・予備切り換え1台)	4	[実装4]
一 斉 指 令 ・ 放 送 レ ベ ル 表 示	4	[実装4]

## • 高機能消防指令システムの主な機能

### 自動出動指定装置

119番の通報内容を入力することで、出動隊の自動編成や署所への自動指令、災害事案の管理等を制御するコンピューター設備です。

### 地図等検索装置 [FMVD40006]

災害発生現場の位置を的確・迅速に確認するための検索を行い、指令装置及び自動出動指定装置と連動して、災害地点を即時に表示する装置です。

### 無線統制台（デジタル波）[RC-920B2]

館林地区消防組合で使用している無線デジタル波の（全国統制波1・2・3波、主運用波、活動波1・2波）の基地局6波の送信・受信を行う装置です。

### 車両動態表示装置 [AVM装置 HG-7COMO3B]

車両に搭載した端末装置より発信したデジタル信号によって各車両の「出動」「現場到着」等の動態を監視、記録する装置です。

### 順次指令装置 [ARS-800F]

火災等の災害発生時に消防幹部、非番職員に対し、電話回線を利用して災害情報を伝達する装置で、一度に5回線（職員5名）の招集が可能です。

### 災害状況自動案内装置 [TS-500F]

災害状況自動案内装置は、災害発生時に住民からの電話による問い合わせを自動案内する装置です。このシステムでは、一度に100件までの問い合わせに対応可能なため、話中になることはありません。

### NET119

聴覚や発話の障害等により音声通話が困難な方が、スマートフォン等のインターネット機能を通して、簡単な画面操作で119番通報を行えるシステムです。（利用には登録申請が必要で、市役所、各町役場、消防本部通信指令課で受付）

### 多言語通話機能（119番3者通話）

外国籍の方の119番通報に対し、3者通話方式による同時通訳を行うことで、通報内容を把握するためのシステムです。

# 令和4年 119番受付状況

令和4年4月1日～令和4年12月31日

119 番 区 分	各 種 事 案											
	火 災	救 急	救 助	そ の 他 出 動 ※ <sub>2</sub>	誤 報 ※ <sub>3</sub>	いた ず ら	通 訓	転 送 ※ <sub>4</sub>	テ ス ト	不 明	問 合 せ ※ <sub>5</sub>	合 計
固定電話	4	###	3	7	98	2	274	2	247	13	79	1,853
IP電話	9	###	5	17	46		257	5	15	1	88	2,146
携帯電話	39	###	40	80	336	1	35	150	34	40	331	4,021
加入電話（外線）	4	541	14	105	18			1	15		11	709
消防無線		22		12								34
駆付け	1	46		1							3	51
NET119									1			1
その他 ※ <sub>1</sub>	1	55	1	17	16				64	14	5	173
合 計	58	###	63	239	514	3	566	158	376	68	517	8,988

※<sub>1</sub> その他は、専用線、ヘルプネット、NEXCO、自己覚知からの通報。

※<sub>2</sub> その他出動は、火災、救急、救助に該当しない緊急出動。

※<sub>3</sub> 誤報は、まちがい電話や携帯電話の誤作動による通報も含む。

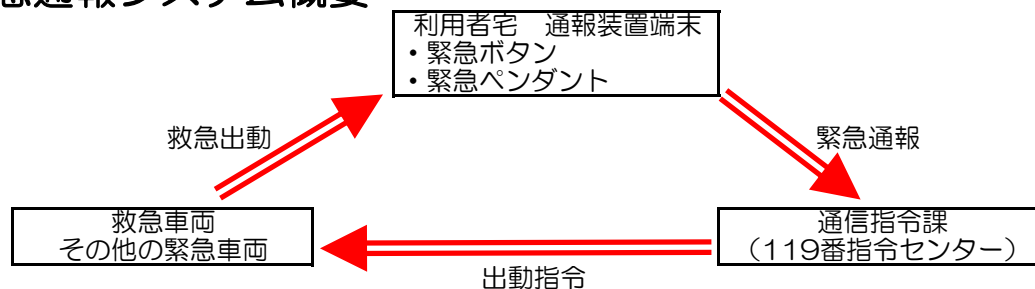
※<sub>4</sub> 転送は、管轄外へ119番通報を転送したもの。

※<sub>5</sub> 問合せは、病院案内や各種問合せを含む。

## 緊急通報システム月別受信状況

件数 \ 月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
全着信数(合計)	37	28	37	36	36	24	50	35	30	31	45	27	416
救急出場	13	8	8	9	13	12	12	8	6	8	8	10	115
誤報	13	10	9	12	7	3	10	8	2	11	5	4	94

## 緊急通報システム概要



・1人暮らしの高齢者や、身体の不自由な方が、救急車などの助けを必要とする時に簡単に呼べるよう、その場でボタンを押すだけで119番通報ができる通報装置（ボタン型、ペンダント型）を使用した通報システムです。

・利用者宅に端末を設置する際に住所や病歴、民生員などを登録することで、声が出せない状況でもボタンを押すだけで登録した住所に救急車などの緊急車両が向かいます。

# 館林地区消防組合デジタル無線局一覽

## 基地局無線装置

所属	局別	呼出名称	メーカー	型式	出力	購入年
通信指令課	基地局無線装置	たてばやししょうぼう	富士通ゼネラル	CF-2414F	第1装置 (活動波1現用) 5W	H26.3
					第2装置 (活動波1予備) 5W	
					第3装置 (活動波2現用) 5W	
					第4装置 (活動波2予備) 5W	
				CF-2416F	第5装置 (主運用波) 5W	
					第6装置 (統制波1・2・3) 5W	
小計	基地局	1	送受信装置	6		

## 消防本部

局別・車別	呼出名称	メーカー	型式	出力(W)	購入年
館林本部1号車	たてばやしほんぶ 1	富士通ゼネラル	CM-2010D	5	H26.3
館林本部2号車	たてばやしほんぶ 2	富士通ゼネラル	CM-2010D	5	H26.3
館林本部3号車	たてばやしほんぶ 3	富士通ゼネラル	CM-2010D	5	H26.3
館林本部4号車	たてばやしほんぶ 4	富士通ゼネラル	CM-2010D	5	H26.3
館林資材搬送車	たてばやししざい 1	富士通ゼネラル	CM-2010D	5	H26.3
館林火災調査1号車	たてばやしかさいちょうさ 1	富士通ゼネラル	CM-2010D	5	H26.3
館林本部司令1号車	たてばやしほんぶしれい 1	富士通ゼネラル	CM-2010D	5	H26.3
館林水防1号車	たてばやしすいぼう 1	富士通ゼネラル	CM-2010D	5	H26.3
館林人員輸送1号車	たてばやしじんいんゆそう 1	富士通ゼネラル	CM-2010D	5	H26.3
携帯型移動局	たてばやしほんぶ 101	富士通ゼネラル	CP-2010P	5	H26.3
〃	たてばやしほんぶ 102	富士通ゼネラル	CP-2010P	5	H26.3
〃	たてばやしほんぶ 103	富士通ゼネラル	CP-2010P	5	H26.3
〃	たてばやしほんぶ 104	富士通ゼネラル	CP-2010P	5	H26.3
〃	たてばやしほんぶ 201	富士通ゼネラル	CP-2010P	5	H26.3
〃	たてばやしほんぶ 202	富士通ゼネラル	CP-2010P	5	H26.3
〃	たてばやしほんぶ 203	富士通ゼネラル	CP-2010P	5	H26.3
〃	たてばやしほんぶ 204	富士通ゼネラル	CP-2010P	5	H26.3
〃	たてばやしほんぶ 205	富士通ゼネラル	CP-2010P	5	H26.3
〃	たてばやしほんぶ 206	富士通ゼネラル	CP-2010P	5	H26.3
〃	たてばやしほんぶ 207	富士通ゼネラル	CP-2010P	5	H26.3
〃	たてばやしほんぶ 208	富士通ゼネラル	CP-2010P	5	H26.3
〃	たてばやしほんぶ 209	富士通ゼネラル	CP-2010P	5	H26.3
署活系携帯型移動局	たてばやしほんぶしよかつ 101	富士通ゼネラル	CP-4069TH	1	H26.3
〃	たてばやしほんぶしよかつ 102	富士通ゼネラル	CP-4069TH	1	H26.3
〃	たてばやしほんぶしよかつ 103	富士通ゼネラル	CP-4069TH	1	H26.3
〃	たてばやしほんぶしよかつ 104	富士通ゼネラル	CP-4069TH	1	H26.3
〃	たてばやしほんぶしよかつ 105	富士通ゼネラル	CP-4069TH	1	H26.3
〃	たてばやしほんぶしよかつ 106	富士通ゼネラル	CP-4069TH	1	H26.3
〃	たてばやしほんぶしよかつ 107	富士通ゼネラル	CP-4069TH	1	H26.3
〃	たてばやしほんぶしよかつ 108	富士通ゼネラル	CP-4069TH	1	H26.3
〃	たてばやしほんぶしよかつ 109	富士通ゼネラル	CP-4069TH	1	H26.3
〃	たてばやしほんぶしよかつ 110	富士通ゼネラル	CP-4069TH	1	H26.3
〃	たてばやしほんぶしよかつ 111	富士通ゼネラル	CP-4069TH	1	H26.3
〃	たてばやしほんぶしよかつ 112	富士通ゼネラル	CP-4069TH	1	H26.3
〃	たてばやしほんぶしよかつ 113	富士通ゼネラル	CP-4069TH	1	H26.3
〃	たてばやしほんぶしよかつ 114	富士通ゼネラル	CP-4069TH	1	H26.3
小計	車載型移動局 9	携帯型移動局 13	署活系携帯型移動局 14		

## 館林消防署

局別・車別	呼出名称	メーカー	型式	出力 (W)	購入年
館林署隊本部 1	たてばやししょたいほんぶ 1	富士通ゼネラル	CM-2010DF	5	H26.3
館林指揮1号車	たてばやししき 1	富士通ゼネラル	CM-2010D	5	H26.3
館林2号車	たてばやし 2	富士通ゼネラル	CM-2010D	5	H26.3
館林救助1号車	たてばやしきゅうじょ 1	富士通ゼネラル	CM-2010D	5	H26.3
館林化学1号車	たてばやしかがく 1	富士通ゼネラル	CM-2010D	5	H26.3
館林西水槽1号車	たてばやしにし すいそう 1	富士通ゼネラル	CM-2010D	5	H26.3
館林梯子1号車	たてばやしはしご 1	富士通ゼネラル	CM-2010D	5	H26.3
館林照明1号車	たてばやししょうめい 1	富士通ゼネラル	CM-2010D	5	H26.3
館林10号車	たてばやし 10	富士通ゼネラル	CM-2010D	5	H26.3
館林11号車	たてばやし 11	富士通ゼネラル	CM-2010D	5	H26.3
館林広報1号車	たてばやしこうほう 1	富士通ゼネラル	CM-2010D	5	H26.3
救急館林1号車	きゅうきゅうたてばやし 1	富士通ゼネラル	CM-2010D	5	H26.3
救急館林2号車	きゅうきゅうたてばやし 2	富士通ゼネラル	CM-2010D	5	H26.3
可搬型移動局	たてばやししき 101	富士通ゼネラル	CP-2010P	5	H26.3
携帯型移動局	たてばやし 101	富士通ゼネラル	CP-2010P	5	H26.3
//	たてばやし 102	富士通ゼネラル	CP-2010P	5	H26.3
//	たてばやし 103	富士通ゼネラル	CP-2010P	5	H26.3
//	たてばやし 104	富士通ゼネラル	CP-2010P	5	H26.3
//	たてばやし 105	富士通ゼネラル	CP-2010P	5	H26.3
//	たてばやし 106	富士通ゼネラル	CP-2010P	5	H26.3
//	たてばやし 107	富士通ゼネラル	CP-2010P	5	H26.3
//	たてばやし 108	富士通ゼネラル	CP-2010P	5	H26.3
//	たてばやし 109	富士通ゼネラル	CP-2010P	5	H26.3
//	たてばやし 110	富士通ゼネラル	CP-2010P	5	H26.3
//	たてばやし 111	富士通ゼネラル	CP-2010P	5	H26.3
署活系携帯型移動局	たてばやししよかつ 101	富士通ゼネラル	CP-4069TH	1	H26.3
//	たてばやししよかつ 102	富士通ゼネラル	CP-4069TH	1	H26.3
//	たてばやししよかつ 103	富士通ゼネラル	CP-4069TH	1	H26.3
//	たてばやししよかつ 104	富士通ゼネラル	CP-4069TH	1	H26.3
//	たてばやししよかつ 105	富士通ゼネラル	CP-4069TH	1	H26.3
//	たてばやししよかつ 106	富士通ゼネラル	CP-4069TH	1	H26.3
//	たてばやししよかつ 107	富士通ゼネラル	CP-4069TH	1	H26.3
//	たてばやししよかつ 108	富士通ゼネラル	CP-4069TH	1	H26.3
//	たてばやししよかつ 109	富士通ゼネラル	CP-4069TH	1	H26.3
//	たてばやししよかつ 110	富士通ゼネラル	CP-4069TH	1	H26.3
//	たてばやししよかつ 111	富士通ゼネラル	CP-4069TH	1	H26.3
//	たてばやししよかつ 112	富士通ゼネラル	CP-4070TH	1	H27.12
//	たてばやししよかつ 113	富士通ゼネラル	CP-4070TH	1	H27.12
//	たてばやししよかつ 114	富士通ゼネラル	CP-4070TH	1	H27.12
//	たてばやししよかつ 115	富士通ゼネラル	CP-4070TH	1	H27.12
//	たてばやししよかつ 116	富士通ゼネラル	CP-4070TH	1	H27.12
//	たてばやししよかつ 117	富士通ゼネラル	CP-4070TH	1	H27.12
//	たてばやししよかつ 118	富士通ゼネラル	CP-4070TH	1	H27.12
//	たてばやししよかつ 119	富士通ゼネラル	CP-4070TH	1	H27.12
//	たてばやししよかつ 120	富士通ゼネラル	CP-4070TH	1	H27.12
//	たてばやししよかつ 121	アルインコ	XE-1103	1	H29.12
//	たてばやししよかつ 207	富士通ゼネラル	CP-4070TH	1	R3.3
//	たてばやししよかつ 208	富士通ゼネラル	CP-4070TH	1	R3.3
//	たてばやししよかつ 209	富士通ゼネラル	CP-4070TH	1	R3.3
//	たてばやししよかつ 305	富士通ゼネラル	CP-4069TH	1	H26.3
//	たてばやししよかつ 306	富士通ゼネラル	CP-4069TH	1	H26.3
小 計	卓上型固定移動局 1	車載型移動局 13	可搬型移動局 1	携帯型移動局 11	署活系携帯型移動局 26

## 西分署

局別・車別	呼出名称	メーカー	型式	出力 (W)	購入年
館林西署隊本部 1	たてばやしにししょたいほんぶ 1	富士通ゼネラル	CM-2010DF	5	H26.3
館林西 1号車	たてばやしにし 1	富士通ゼネラル	CM-2010D	5	H26.3
救急館林西 1号車	きゅうきゅうたてばやしにし 1	富士通ゼネラル	CM-2010D	5	H26.3
館林西広報 1号車	たてばやしにし こうほう1	富士通ゼネラル	CM-2010D	5	H26.3
携帯型移動局	たてばやしにし 101	富士通ゼネラル	CP-2010P	5	H26.3
//	たてばやしにし 102	富士通ゼネラル	CP-2010P	5	H26.3
//	たてばやしにし 103	富士通ゼネラル	CP-2010P	5	H26.3
//	たてばやしにし 104	富士通ゼネラル	CP-2010P	5	H26.3
署活系携帯型移動局	たてばやししょかつ 201	富士通ゼネラル	CP-4069TH	1	H26.3
//	たてばやししょかつ 202	富士通ゼネラル	CP-4069TH	1	H26.3
//	たてばやししょかつ 203	富士通ゼネラル	CP-4069TH	1	H26.3
//	たてばやししょかつ 204	富士通ゼネラル	CP-4069TH	1	H26.3
//	たてばやししょかつ 205	富士通ゼネラル	CP-4069TH	1	H26.3
//	たてばやししょかつ 206	富士通ゼネラル	CP-4069TH	1	H26.3
小 計	卓上型固定移動局 1	車載型移動局 3	携帯型移動局 4	署活系携帯型移動局 6	

## 北分署

局別・車別	呼出名称	メーカー	型式	出力 (W)	購入年
館林北署隊本部 1	たてばやしきたししょたいほんぶ 1	富士通ゼネラル	CM-2010DF	5	H26.3
館林北 1号車	たてばやしきた 1	富士通ゼネラル	CM-2010D	5	H26.3
救急館林北 1号	きゅうきゅうたてばやしきた 1	富士通ゼネラル	CM-2010D	5	H26.3
携帯型移動局	たてばやしきた 101	富士通ゼネラル	CP-2010P	5	H26.3
//	たてばやしきた 102	富士通ゼネラル	CP-2010P	5	H26.3
//	たてばやしきた 103	富士通ゼネラル	CP-2010P	5	H26.3
署活系携帯型移動局	たてばやししょかつ 301	富士通ゼネラル	CP-4069TH	1	H26.3
//	たてばやししょかつ 302	富士通ゼネラル	CP-4069TH	1	H26.3
//	たてばやししょかつ 303	アルインコ	DJ-FU50A	1	R3.12
//	たてばやししょかつ 304	富士通ゼネラル	CP-4069TH	1	H26.3
小 計	卓上型固定移動局 1	車載型移動局 2	携帯型移動局 3	署活系携帯型移動局 4	

## 板倉消防署

局別・車別	呼出名称	メーカー	型式	出力 (W)	購入年
板倉署隊本部 1	いたくらしょたいほんぶ 1	富士通ゼネラル	CM-2010DF	5	H26.3
板倉 1号車	いたくら 1	富士通ゼネラル	CM-2010D	5	H26.3
板倉 2号車	いたくら 2	富士通ゼネラル	CM-2010D	5	H26.3
板倉重機 1号車	いたくらしゅうき 1	富士通ゼネラル	CM-2010D	5	H26.3
救急板倉 1号車	きゅうきゅういたくら 1	富士通ゼネラル	CM-2010D	5	H26.3
板倉広報 1号車	いたくらくこうほう 1	富士通ゼネラル	CM-2010D	5	H26.3
携帯型移動局	いたくら 101	富士通ゼネラル	CP-2010P	5	H26.3
//	いたくら 102	富士通ゼネラル	CP-2010P	5	H26.3
//	いたくら 103	富士通ゼネラル	CP-2010P	5	H26.3
//	いたくら 104	富士通ゼネラル	CP-2010P	5	H26.3
//	いたくら 105	富士通ゼネラル	CP-2010P	5	H26.3
署活系携帯型移動局	いたくらしょかつ 101	アルインコ	DJ-FU50A	1	R3.12
//	いたくらしょかつ 102	富士通ゼネラル	CP-4069TH	1	H26.3
//	いたくらしょかつ 103	富士通ゼネラル	CP-4069TH	1	H26.3
//	いたくらしょかつ 104	富士通ゼネラル	CP-4069TH	1	H26.3
//	いたくらしょかつ 105	富士通ゼネラル	CP-4069TH	1	H26.3
//	いたくらしょかつ 106	富士通ゼネラル	CP-4069TH	1	H26.3
//	いたくらしょかつ 107	富士通ゼネラル	CP-4069TH	1	H26.3
//	いたくらしょかつ 108	富士通ゼネラル	CP-4070TH	1	R1.11
//	いたくらしょかつ 109	富士通ゼネラル	CP-4070TH	1	R1.11
//	いたくらしょかつ 110	富士通ゼネラル	CP-4070TH	1	R1.11
小 計	卓上型固定移動局 1	車載型移動局 5	携帯型移動局 5	署活系携帯型移動局 10	

## 明和消防署

局別・車別	呼出名称	メーカー	型式	出力 (W)	購入年
明和署隊本部 1	めいわしょたいほんぶ 1	富士通ゼネラル	CM-2010DF	5	H26.3
明和 1号車	めいわ 1	富士通ゼネラル	CM-2010D	5	H26.3
救急明和 1号車	きゅうきゅうめいわ 1	富士通ゼネラル	CM-2010D	5	R3.12
明和広報 1号車	めいわこうほう 1	富士通ゼネラル	CM-2010D	5	H26.3
携帯型移動局	めいわ 101	富士通ゼネラル	CP-2010P	5	H26.3
//	めいわ 102	富士通ゼネラル	CP-2010P	5	H26.3
//	めいわ 103	富士通ゼネラル	CP-2010P	5	H26.3
署活系携帯型移動局	めいわしょかつ 101	富士通ゼネラル	CP-4069TH	1	H26.3
//	めいわしょかつ 102	富士通ゼネラル	CP-4069TH	1	H26.3
//	めいわしょかつ 103	富士通ゼネラル	CP-4069TH	1	H26.3
//	めいわしょかつ 104	富士通ゼネラル	CP-4069TH	1	H26.3
//	めいわしょかつ 105	富士通ゼネラル	CP-4069TH	1	H26.3
//	めいわしょかつ 106	富士通ゼネラル	CP-4069TH	1	H26.3
//	めいわしょかつ 107	富士通ゼネラル	CP-4069TH	1	H26.3
//	めいわしょかつ 108	アルインコ	DJ-FU50A	1	R3.12
//	めいわしょかつ 109	アルインコ	DJ-FU50A	1	R3.12
//	めいわしょかつ 110	アルインコ	DJ-FU50A	1	R3.12
小 計	卓上型固定移動局 1	車載型移動局 3	携帯型移動局 3	署活系携帯型移動局 10	

## 千代田消防署

局別・車別	呼出名称	メーカー	型式	出力 (W)	購入年
千代田署隊本部 1	ちよだしょたいほんぶ 1	富士通ゼネラル	CM-2010DF	5	H26.3
千代田 1号車	ちよだ 1	富士通ゼネラル	CM-2010D	5	H26.3
救急千代田 1号車	きゅうきゅうちよだ 1	富士通ゼネラル	CM-2010D	5	H26.3
千代田広報 1号車	ちよだこうほう 1	富士通ゼネラル	CM-2010D	5	H26.3
館林北広報 1号車	たてばやしきたこうほう 1	富士通ゼネラル	CM-2010D	5	H26.3
携帯型移動局	ちよだ 101	富士通ゼネラル	CP-2010P	5	H26.3
//	ちよだ 102	富士通ゼネラル	CP-2010P	5	H26.3
//	ちよだ 103	富士通ゼネラル	CP-2010P	5	H26.3
署活系携帯型移動局	ちよだしょかつ 101	富士通ゼネラル	CP-4069TH	1	H26.3
//	ちよだしょかつ 102	富士通ゼネラル	CP-4069TH	1	H26.3
//	ちよだしょかつ 103	富士通ゼネラル	CP-4069TH	1	H26.3
//	ちよだしょかつ 104	富士通ゼネラル	CP-4069TH	1	H26.3
//	ちよだしょかつ 105	富士通ゼネラル	CP-4069TH	1	H26.3
//	ちよだしょかつ 106	富士通ゼネラル	CP-4069TH	1	H26.3
//	ちよだしょかつ 107	富士通ゼネラル	CP-4069TH	1	H26.3
//	ちよだしょかつ 108	富士通ゼネラル	CP-4070TH	1	R3.3
//	ちよだしょかつ 109	富士通ゼネラル	CP-4070TH	1	R3.3
//	ちよだしょかつ 110	富士通ゼネラル	CP-4070TH	1	R3.3
小 計	卓上型固定移動局 1	車載型移動局 4	携帯型移動局 3	署活系携帯型移動局 10	

## 邑楽消防署

局別・車別	呼出名称	メーカー	型式	出力 (W)	購入年
邑楽署隊本部 1	おうらしょたいほんぶ 1	富士通ゼネラル	CM-2010DF	5	H26.3
邑楽 1号車	おうら 1	富士通ゼネラル	CM-2010D	5	H26.3
邑楽 2号車	おうら 2	富士通ゼネラル	CM-2010D	5	H26.3
邑楽資材搬送 1号車	おうらしざいはんそう 1	富士通ゼネラル	CM-2010D	5	H26.3
救急邑楽 1号車	きゅうきゅうおうら 1	富士通ゼネラル	CM-2010D	5	H26.3
邑楽広報 1号車	おうらこうほう 1	富士通ゼネラル	CM-2010D	5	H26.3
携帯型移動局	おうら 101	富士通ゼネラル	CP-2010P	5	H26.3
//	おうら 102	富士通ゼネラル	CP-2010P	5	H26.3
//	おうら 103	富士通ゼネラル	CP-2010P	5	H26.3
//	おうら 104	富士通ゼネラル	CP-2010P	5	H26.3
//	おうら 105	富士通ゼネラル	CP-2010P	5	H26.3
署活系携帯型移動局	おうらしょかつ 101	富士通ゼネラル	CP-4069TH	1	H26.3
//	おうらしょかつ 102	富士通ゼネラル	CP-4069TH	1	H26.3
//	おうらしょかつ 103	富士通ゼネラル	CP-4069TH	1	H26.3
//	おうらしょかつ 104	富士通ゼネラル	CP-4069TH	1	H26.3
//	おうらしょかつ 105	富士通ゼネラル	CP-4069TH	1	H26.3
//	おうらしょかつ 106	富士通ゼネラル	CP-4069TH	1	H26.3
//	おうらしょかつ 107	富士通ゼネラル	CP-4069TH	1	H26.3
//	おうらしょかつ 108	富士通ゼネラル	CP-4069TH	1	H26.3
//	おうらしょかつ 109	富士通ゼネラル	CP-4070TH	1	H31.3
//	おうらしょかつ 110	富士通ゼネラル	CP-4070TH	1	H31.3
//	おうらしょかつ 111	富士通ゼネラル	CP-4070TH	1	H31.3
小 計	卓上型固定移動局 1	車載型移動局 5	携帯型移動局 5	署活系携帯型移動局 11	



# 気象関係

## 月別天候状況調

(令和4年中)

月別	区分	晴	曇	雨	雪	降雨の あった日
1月		25	5	1		1
2月		23	4		1	7
3月		20	9	2		6
4月		11	18	1		14
5月		16	12	3		10
6月		13	15	2		14
7月		13	14	4		10
8月		9	19	3		13
9月		10	14	6		14
10月		15	12	4		11
11月		20	8	2		8
12月		23	5	3		4
合計		198	135	31	1	112

(前橋地方気象台観測記録による天候)

## 風速・温度・湿度・降水量月別平均調

(令和4年中)

月別	区分	風速 (m)	温度 (℃)	湿度 (%)	総降水量 (mm)
1月		1.5	3.6	48.7	4.0
2月		1.4	4.2	50.5	44.5
3月		1.5	10.1	57.4	71.5
4月		1.4	14.9	69.9	145.5
5月		1.4	18.6	68.8	134.0
6月		1.5	23.1	73.4	75.5
7月		1.5	27.6	76.8	191.5
8月		1.4	27.4	77.4	60.0
9月		1.3	24.1	79.8	224.0
10月		0.9	16.6	76.3	102.5
11月		1.0	13.1	71.5	51.5
12月		1.1	6.1	61.2	27.5
				総降水量	1,132.0

(館林地区消防組合午前9時観測値)

## 気象情報受理事件数

(令和4年1月1日から令和4年12月31日)

注意報					
風雪	強風	大雨	洪水	大雪	雷
	8	7	5	3	66
乾燥	濃霧	霜	低温	着雪	着氷
10	38	3			

警報				
暴風	暴風雪	大雨	洪水	大雪

気象情報			
台風	大雨	黄砂	雪
20	83		42

地震観測回数 35回 (館林市内で震度1以上の地震を観測した回数)





音樂隊



# 消防音楽隊

発 足 昭和45年5月15日

目 的 音楽を通して防火・防災思想の普及、災害に対する備えと消防志気の高揚に資し、併せて住民との接触を密にして融和を図り、もって消防の使命達成に寄与すること。

## 音楽隊編成表

令和5年4月1日現在

区 分	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消 防 士	合 計
隊 長		1				1
副 隊 長		2				2
隊 員		4	6	10	4	24
計		7	6	10	4	27

指 揮 者		1				1
トランペット		1	1	1	2	5
トロンボーン		1	1	1		3
アルトサクソ		1	2		1	4
テナーサクソ			2		1	3
フルート		1		2		3
スーザホン/Eベース				1	1	2
クラリネット		1		3		4
パーカッション		1		1		2
キーボード						
計		7	6	9	5	27

- 消防音楽隊は27名の消防職員で構成され、組合管内の各行事等に出場し、地域住民に消防のPRに努めています。



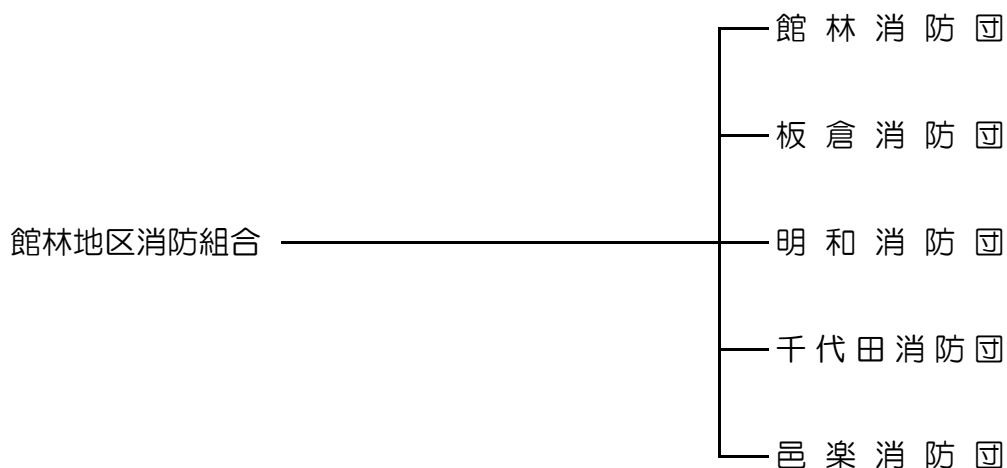


消防団





## 消防団組織図



※ 組合消防団長は各消防団長の協議により選出

## 本部の名称及び位置

名	称	位	置
館林地区消防組合	館林消防団本部	館林市上赤生田町	4050番地の1
館林地区消防組合	板倉消防団本部	板倉町大字板倉	3427番地の5
館林地区消防組合	明和消防団本部	明和町南大島	265番地1
館林地区消防組合	千代田消防団本部	千代田町大字萱野	1218番地の1
館林地区消防組合	邑楽消防団本部	邑楽町大字中野	2647番地1

## 団員報酬等

令和5年4月1日現在

階級別	団 長	副 団 長	分 団 長	副分団長	班 長	団 員
年額報酬	289,000	209,000	163,000	109,000	70,000	55,000

○組合消防団長については、年額15,000円を加算。

○出勤報酬として、1出勤につき2,500円／人を支給。

また、災害出勤等で長時間にわたる場合は、1日あたり8,000円を支給。

# 消防団分団区域一覽

## 館林消防団

分団名	班名	区 域
第1分団		本町二丁目西・本町二丁目東・本町三丁目・本町四丁目 千代田町・富士見町
第2分団		仲町南・仲町北・西本町南・西本町北・代官町・大街道一丁目 大街道二丁目・大街道三丁目・栄町
第3分団		本町一丁目・台宿町・大手町・朝日町南・朝日町北・尾曳町 加法師町・広内町・城町南・城町北・東広内町・若宮町 瀬戸谷町・坂下町
第4分団	第1班	当郷町・田谷町・四ツ谷町・千塚町・細内町
	第2班	大島町
第5分団	第1班	花山町・羽附町・羽附旭町・楠町
	第2班	赤生田町・赤生田本町・上赤生田町
第6分団	第1班	新宿一丁目・新宿二丁目・緑町一丁目・緑町二丁目 松原一丁目・松原二丁目・松原三丁目・つつじ町
	第2班	美園町・南美園町・東美園町・西美園町・堀工町・富士原町 小桑原町・赤土町のうち旧富士北・分福町
	第3班	青柳町・近藤町・苗木町・諏訪町
第7分団	第1班	上三林町・下三林町・入ヶ谷町
	第2班	野辺町
第8分団	第1班	赤土町・大谷町・成島町・北成島町・新栄町 松沼町（赤土町のうち旧富士北を除く。）
	第2班	西高根町・高根町
第9分団	第1班	木戸町
	第2班	日向町
第10分団	第1班	足次町・岡野町・大新田町
	第2班	下早川田町・上早川田町・傍示塚町

## 板倉消防団

分団名	班名	区 域
第1分団		岩田・靱谷・内蔵新田
第2分団		板倉・大蔵
第3分団		飯野・大高嶋・下五箇
第4分団		海老瀬・朝日野一丁目・二丁目・三丁目・四丁目 泉野一丁目・二丁目・三丁目・四丁目
第5分団		大曲・大荷場・細谷・離・除川・西岡・西岡新田

## 明和消防団

分団名	班名	区 域
第1分団	第1班	斗合田・下江黒・上江黒
	第2班	千津井・江口・田島
第2分団	第1班	南大島
	第2班	新里・中谷・梅原
第3分団	第1班	川俣・須賀・大輪
	第2班	入ヶ谷・矢島・大佐貫

## 千代田消防団

分団名	班名	区 域
第1分団	第1班	赤岩（1区、2区、3区（熊野、五反田））・赤岩西
	第2班	赤岩（3区（檜内）、11区）
	第3班	福島
	第4班	舞木（14区）・新福寺
	第5班	舞木（15区、16区）・舞木東
第2分団	第1班	瀬戸井・上五箇
	第2班	上中森・下中森・昭和
	第3班	萱野・木崎・鍋谷

## 邑楽消防団

分団名	班名	区 域
第1分団	第1班	横町化楽・上下西宿・光善寺・新中野・明野
	第2班	下中野・前谷東原・前・瀬戸宿、千原田向地・鶉上・鶉下・鶉新田
	第3班	前原・天王元宿・十三坊塚・大根村琵琶首・谷中蛭沼
第2分団	第1班	藤川
	第2班	一本木・渋沼
	第3班	秋妻
	第4班	石打・住谷崎
第3分団	第1班	西ノ根宮内中島・馬場大林・上下寺中
	第2班	坪谷
	第3班	水立大黒・十三軒・十軒
	第4班	店高原・本郷江原
	第5班	古家・大谷端宿赤東・開拓

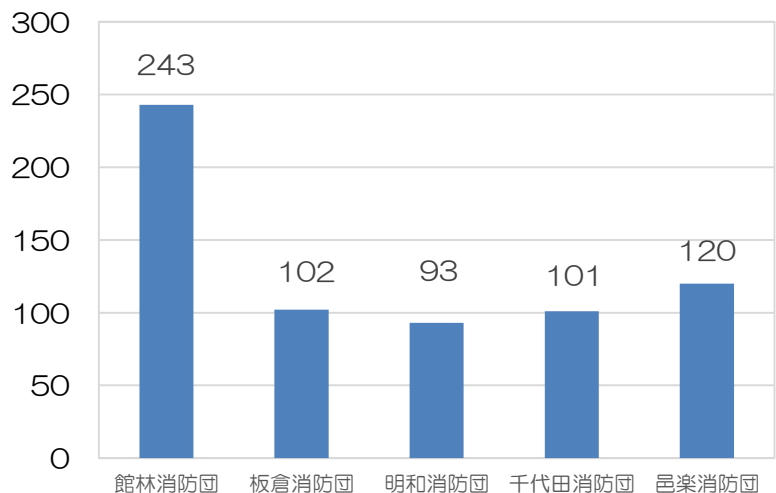
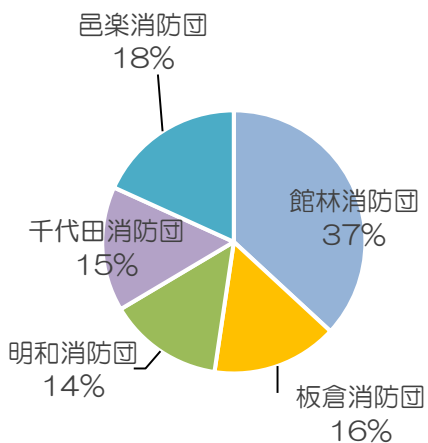
# 消防団員の現況

## 消防団員配置状況

令和5年4月1日現在

階級別		団 長	副団長	本部員	分団長	副分団長	班 長	団 員	合 計
団 別									
館林消防団	団本部	1	3	4					8
	第1分団				1	1	2	14	18
	第2分団				1	1	2	14	18
	第3分団				1	1	2	12	16
	第4分団				1	1	2	21	25
	第5分団				1	1	2	20	24
	第6分団				1	2	3	29	35
	第7分団				1	1	2	20	24
	第8分団				1	1	2	21	25
	第9分団				1	1	2	21	25
	第10分団				1	1	2	21	25
小 計	1	3	4	10	11	21	193	243	
板倉消防団	団本部	1	2						3
	第1分団				1	1	2	16	20
	第2分団				1	1	2	16	20
	第3分団				1	1	2	16	20
	第4分団				1	1	2	15	19
	第5分団				1	1	2	16	20
小 計	1	2		5	5	10	79	102	
明和消防団	団本部	1	2						3
	第1分団				1	1	2	26	30
	第2分団				1	1	2	26	30
	第3分団				1	1	2	26	30
小 計	1	2		3	3	6	78	93	
千代田消防団	団本部	1	2						3
	第1分団				1	1	5	51	58
	第2分団				1	1	3	35	40
小 計	1	2		2	2	8	86	101	
邑楽消防団	団本部	1	2						3
	第1分団				1	1	3	31	36
	第2分団				1	1	4	30	36
	第3分団				1	1	5	38	45
小 計	1	2		3	3	12	99	120	
合 計	5	11	4	23	24	57	535	659	

## 消防団員配置状況



# 消防団員階級別年齢調

令和5年4月1日現在

階級別		21歳 未満	21歳 ～24歳	25歳 ～29歳	30歳 ～34歳	35歳 ～39歳	40歳 ～44歳	45歳 ～49歳	50歳 ～54歳	55才 以上	合 計
団 別											
館林消防団	団 長									1	1
	副 団 長							2		1	3
	分 団 長				1	3	5	5			14
	副分団長				1	3	4	3			11
	班 長				2	8	9	2			21
	団 員	1	7	28	33	39	42	31	11	1	193
	小 計	1	7	28	37	53	60	43	11	3	243
板倉消防団	団 長							1			1
	副 団 長					1		1			2
	分 団 長					1	1	2	1		5
	副分団長			1		1	3				5
	班 長					2	4	3	1		10
	団 員			6	3	17	40	13			79
	小 計			7	3	22	48	20	2		102
明和消防団	団 長								1		1
	副 団 長						1		1		2
	分 団 長				1	2					3
	副分団長				2		1				3
	班 長			2	3				1		6
	団 員			8	18	24	11	13	4		78
	小 計			10	24	26	13	13	7		93
千代田消防団	団 長								1		1
	副 団 長								2		2
	分 団 長							1	1		2
	副分団長				1			1			2
	班 長			2	3	1	2				8
	団 員		2	7	18	14	18	18	9		86
	小 計		2	9	22	15	20	20	13		101
邑楽消防団	団 長									1	1
	副 団 長							1		1	2
	分 団 長						2	1			3
	副分団長						2	1			3
	班 長			1	4	3	2	2			12
	団 員	1	1	8	28	24	17	14	6		99
	小 計	1	1	9	32	27	23	19	6	2	120
合 計		2	10	63	118	143	164	115	39	5	659

# 消防団消防車両配置一覧表

車両総計：普通ポンプ車 33、水槽付ポンプ車 10、小型動力ポンプ積載車 7、小型動力ポンプ 7  
 団指令車 2

## 館林消防団

令和5年4月1日現在

名称	所在	種別	車両型式	ポンプ性能	排気量	購入年月	備考
第1分団車	本町3丁目8-2	普通ポンプ車	CD-I	A2級	4000cc	H21.3	
第2分団車	大街道1丁目13-38	普通ポンプ車	CD-I	A2級	4000cc	R4.1	
第3分団車	朝日町1-34	普通ポンプ車	CD-I	A2級	4000cc	H24.11	
第4分団第1班車	当郷町1904	普通ポンプ車	CD-I	A2級	4890cc	H14.11	
第4分団第2班車	大島町3984-1	普通ポンプ車	CD-I	A2級	4000cc	R5.1	
第5分団第1班車	羽附町1693-2	小型動力ポンプ積載車			2990cc	H29.12	
		小型動力ポンプ		B2級		H29.12	
第5分団第2班車		普通ポンプ車	CD-I	A2級	4000cc	H30.9	
第6分団第1班車	緑町1丁目13-21	普通ポンプ車	CD-I	A2級	4570cc	H11.12	
第6分団第2班車	堀工町1202-2	普通ポンプ車	CD-I	A2級	4890cc	H16.3	
第6分団第3班車	青柳町901-2	小型動力ポンプ積載車			2990cc	H26.2	
		小型動力ポンプ		B2級		H26.2	
第7分団第1班車	上三林町1507-1	普通ポンプ車	CD-I	A2級	4000cc	H23.11	
第7分団第2班車		小型動力ポンプ積載車			2990cc	H28.2	
		小型動力ポンプ		B2級		H28.2	
第8分団第1班車	成島町371	普通ポンプ車	CD-I	A2級	4570cc	H11.12	水槽付 700ℓ
第8分団第2班車	高根町1060	小型動力ポンプ積載車			2950cc	H22.1	救助資機材搭載型 (消防庁貸与)
		小型動力ポンプ		B2級		H22.1	
第9分団第1班車	木戸町320-4	小型動力ポンプ積載車			2990cc	H29.2	
		小型動力ポンプ		B2級		H29.2	
第9分団第2班車	日向町836	普通ポンプ車	CD-I	A2級	4000cc	R3.1	
第10分団第1班車	足次町149	普通ポンプ車	CD-I	A2級	4000cc	R2.1	
第10分団第2班車	下早川町845-1	小型動力ポンプ積載車			2990cc	H27.2	
		小型動力ポンプ		B2級		H27.2	
団指令車	上赤生田町4050-1	指令車			2000cc	R2.11	館林署配置

合計：普通ポンプ車 11、水槽付ポンプ車 1、小型動力ポンプ積載車 6、小型動力ポンプ 6

団指令車 1

## 板倉消防団

名称	所在	種別	車両型式	ポンプ性能	排気量	購入年月	備考
第1分団車	岩田1880	普通ポンプ車	CD-I	A2級	4000cc	H25.12	
第2分団車	板倉1594	普通ポンプ車	CD-I	A2級	4770cc	H15.9	水槽付 700ℓ
第3分団車	大高嶋1587-1	普通ポンプ車	CD-I	A2級	4000cc	H23.11	
第4分団車	朝日野1丁目3983	普通ポンプ車	CD-I	A2級	4000cc	H22.10	
第5分団車	西岡331	普通ポンプ車	CD-I	A2級	4000cc	R1.12	水槽付 700ℓ
団指令車	板倉3427-5	小型動力ポンプ積載車			2500cc	R3.2	救助資機材搭載型 (消防庁貸与)
		小型動力ポンプ		C級		R3.2	

合計：普通ポンプ車 3、水槽付ポンプ車 2、小型動力ポンプ積載車 1、小型動力ポンプ 1

## 明和消防団

名称	所在	種別	車両型式	ポンプ性能	排気量	購入年月	備考
第1分団第1班車	斗合田133-2	普通ポンプ車	CD-I	A2級	4000cc	H30.11	水槽付 700ℓ
第1分団第2班車	江口669	普通ポンプ車	CD-I	A2級	4000cc	H29.10	水槽付 700ℓ
第2分団第1班車	南大島322-2	普通ポンプ車	CD-I	A2級	4770cc	H17.3	水槽付 700ℓ
第2分団第2班車	梅原558	普通ポンプ車	CD-I	A2級	4000cc	R1.11	水槽付 700ℓ
第3分団第1班車	大輪2070-1	普通ポンプ車	CD-I	A2級	4000cc	H30.11	水槽付 700ℓ
第3分団第2班車	矢島829-1	普通ポンプ車	CD-I	A2級	4000cc	H29.10	水槽付 700ℓ

合計：普通ポンプ車 0、水槽付ポンプ車 6、小型動力ポンプ積載車 0、小型動力ポンプ 0

## 千代田消防団

名称	所在	種別	車両型式	ポンプ性能	排気量	購入年月	備考
第1分団第1班車	赤岩193-5	普通ポンプ車	CD-I	A2級	4000cc	H27.11	
第1分団第2班車	赤岩2471-2	普通ポンプ車	CD-I	A2級	4000cc	H27.11	
第1分団第3班車	福島579-1	普通ポンプ車	CD-I	A2級	4000cc	H26.11	
第1分団第4班車	舞木845-1	普通ポンプ車	CD-I	A2級	4000cc	H28.11	
第1分団第5班車	舞木51-14	普通ポンプ車	CD-I	A2級	4000cc	H26.11	
第2分団第1班車	上五箇240-1	普通ポンプ車	CD-I	A2級	4000cc	H26.11	
第2分団第2班車	下中森155-3	普通ポンプ車	CD-I	A2級	4000cc	H28.11	
第2分団第3班車	木崎534-1	普通ポンプ車	CD-I	A2級	4000cc	H27.11	

合計：普通ポンプ車 8、水槽付ポンプ車 0、小型動力ポンプ積載車 0、小型動力ポンプ 0

## 邑楽消防団

名称	所在	種別	車両型式	ポンプ性能	排気量	購入年月	備考
第1分団第1班車	新中野48-1	普通ポンプ車	CD-I	A2級	4000cc	H27.11	
第1分団第2班車	鶉250-1	普通ポンプ車	CD-I	A2級	4000cc	H29.11	
第1分団第3班車	中野2370-1	普通ポンプ車	CD-I	A2級	2990cc	R2.1	救助資機材搭載型 (消防庁貸与)
第2分団第1班車	藤川544	普通ポンプ車	CD-I	A2級	4000cc	H28.11	
第2分団第2班車	藤川1118-3	普通ポンプ車	CD-I	A2級	4000cc	R1.10	
第2分団第3班車	秋妻529-3	普通ポンプ車	CD-I	A2級	4000cc	H30.9	
第2分団第4班車	石打1017-1	普通ポンプ車	CD-I	A2級	2990cc	H26.11	救助資機材搭載型 (消防庁貸与)
第3分団第1班車	篠塚2907	普通ポンプ車	CD-I	A2級	4000cc	H27.11	
第3分団第2班車	篠塚1099-2	普通ポンプ車	CD-I	A2級	4000cc	R1.10	
第3分団第3班車	篠塚1420-2	普通ポンプ車	CD-I	A2級	4000cc	H28.11	
第3分団第4班車	狸塚1590-1	普通ポンプ車	CD-I	A2級	4000cc	H29.11	
第3分団第5班車	赤堀511	普通ポンプ車	CD-I	A2級	4890cc	H14.10	水槽付 700ℓ
団司令車	中野2647-1	司令車	6BA-MZRA90W		1980cc	R5.3	邑楽署配置

合計：普通ポンプ車 11、水槽付ポンプ車 1、小型動力ポンプ積載車 0、小型動力ポンプ 0

団司令車 1

## 消防団の勢力

令和5年4月1日現在

区分 市町別	消防団員1人当たり			消防ポンプ1台当たり		
	人口	世帯数	面積km <sup>2</sup>	人口	世帯数	面積km <sup>2</sup>
館林市	305	140	0.25	4,124	1,900	3.39
板倉町	135	58	0.41	2,301	979	6.98
明和町	116	46	0.21	1,804	718	3.27
千代田町	140	43	0.22	1,762	540	2.72
邑楽町	215	89	0.26	2,150	892	2.59

## 消防団員の出場状況

令和4年中

種別 団別	火災		風水害等の災害		演習訓練		特別警戒		その他		合計	
	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員
館林消防団	20	331			1	54	1	4	1	5	23	394
板倉消防団	11	315			6	199	1	53			18	567
明和消防団	7	203	2	48	3	231	5	269			17	751
千代田消防団	3	36			29	294	3	109	2	74	37	513
邑楽消防団	10	207	1	3	2	144	1	73			14	427
合計	51	1,092	3	51	41	922	11	508	3	79	109	2,652



# 館林地区消防組合消防年報 (令和5年版)

---

発 行 令和5年9月

編 集 館林地区消防組合消防本部  
総務課企画広報係

〒374-0015

群馬県館林市上赤生田町4050-1

TEL : 0276-72-8360

E-mail : soumu@fire-tatebayashi.jp

URL : <https://fire-tatebayashi.jp/>





# 館林地区消防組合構成市町

「里沼の息づく次世代へ安心をつなぐ暮らしやすいまち 館林」館林市



『ぽんちゃん』

「地域で支え合う安全なまち いたくら」板倉町



『いたくらん』

「仕事が好き、家族が好き。だから、明和町」明和町



『メイちゃん』

「共につくろう 人と自然が輝く 元気で活力あるまち ちよだ」千代田町



『みどりちゃん』

「やさしさと活気の調和した夢あふれるまち “おうら”」邑楽町



『翼くんと未来ちゃん』